

FRONTIER



No.67
2025/8/20



Contents

- ・令和7年度 東京同窓会 総会 ・北海道大学150年史〈加藤克さん〉
- ・北大東京ジンパ2025〈山本淳博さん〉 ・工学部同窓会 総会〈斎藤之史さん〉
- ・パナマのランの支援活動〈明智洸一郎さん〉 ・職場奮戦記〈二通健太さん〉
- ・グローバル同窓生〈岩瀬祥子さん〉 ・クラーククラブ演奏会〈松下国弘さん〉
- ・映画『新渡戸の夢』研究〈池田雄二さん〉 ・北大でイチゴ研究〈藤木卓巳さん〉

表紙の写真 (左から) 1段目:小樽駅前の風景(青木康明さん)、明智洸一郎さん、岩渕祥子さん、藤木卓巳さん、斎藤之史さん
2段目:二通健太さん、クラーククラブ演奏会(松下国弘さん)、池田雄二さん
3段目:山本淳博さん、2025北大祭(浅野航希さん・齊藤壮真さん)、加藤克さん

令和7年度 東京同窓会 総会 総務委員会	4
会長・副会長・理事・監事／年間スケジュール／評議員／委員会役員	7
風景との対話「坂の街小樽」 青木康明	11
新社会人歓迎「北大東京ジンパ2025」 山本淳博	12
北海道大学150年史「東京にあった北海道大学の研究資源・前編」 加藤克	18
グローバル同窓生 「知識の生産者から学びの支援者へ」 岩渕祥子	22
北大合唱団東京OB会「クラーククラブ第13回演奏会」のご案内 松下国弘	24
職場奮戦記 「富士山の麓からサーモンと歩む」 二通健太	26
映画『新渡戸の夢』研究《第一回》 池田雄二	29
「私とパナマとラン」ー 絶滅危惧種のパナマのランを観光にー 明智洸一郎	30
エルム談話室 令和6年10月～令和7年2月の活動報告 平田更一	34
文系合同同窓会のご案内 八谷俊雄	37
第22回北大寮歌祭 開催のご案内 岩崎哲也	38
第77回工学部同窓会 総会(東京開催) 斎藤之史	39
北大祭2025 浅野航希・齊藤壮真	40
北海道大学でのイチゴ研究 藤木卓巳	42
北海道大学の近況(2024年冬～2025年春) 北海道大学社会共創部広報課	44
名刺広告	50
新入会員・訃報	53
多摩霊園墓参の誘い／第44回北楡会総会・懇親会 開催のご案内	54
4コマ「くらあくとの北大あるある」 高野葵	
北海道の花 「ミヤマエンレイソウ」 鮫島惇一郎	56

企業広告

中外製薬株式会社／株式会社トクヤマ／株式会社ぶらう
株式会社日建設 北海道オフィス／松尾ジンギスカン ※順不同

世界 を変える。



トクヤマの 太陽光パネル低温熱分解 リサイクル技術

使用済み太陽光パネルから、
高度なリサイクル技術で高品質な素材をとりだす。
北海道南幌町の実験施設から、世界を変えていきます。



◀詳しくはこちらへ
www.tokuyama.co.jp

もっと未来の人のために TOKUYAMA 



令和7年度 東京同窓会 総会

■日時：2025年6月14日（土）17:00～

■場所：交詢社（中央区銀座）

〔対面+Teams（オンライン）ハイブリット開催〕

今年度の総会は、令和7年6月14日（土）17時より交詢社ホール（中央区銀座）にて、対面形式とオンライン形式のハイブリットで開催されました。ご来賓として、大学より山本文彦理事・副学長、社会共創部・辻賢司部長、社会共創部広報課卒業生・基金室 内藤輝章係長、関西同窓会より植松高志会長、中部地区同窓会・末廣真道事務局次長にご出席いただきました。

冒頭、東京同窓会 横田浩会長の挨拶では、来年度の創基150周年記念事業（基金総額50億円に向けた本学に対する、層の協力の呼びかけとともに、新渡戸カレッジを拡大した「イノベーション・フロントランナー」育成のための10年をかけた人材育成プログラム）年1.5億円×10年への期待が述べられました。

総会開催にあたり松浦永治総務委員長より、議事の進行や3月に開催された理事会・評議会ですべての議案が承認されていること、規約16条「会員の1/5以上の会員出席」により総会成立要件を満たしている



挨拶する横田会長



司会の松浦総務委員長

をした世界最大人数としてギネス世界記録認定。

④『新年交礼会』を2025年1月17日にJAZZ LIVE PARTYと銘打ち、明治屋ホールにて対面形式にて開催。北大JAZZ研OB OG他のプロミュージシャンに演奏頂いた。

⑤『OG会』を11月30日に5年ぶりに開催（18名参加）。

⑥『産業別エルム会』との交流促進（情報産業エルム会、食品産業エルム会）。

⑦各学部・学科東京地区同窓会と連携（2月13日事務局局長会議を開催）。

⑧他地区同窓会と連携（各地区同窓会総会へ出席）。

⑨『クラーク遺徳顕彰』（10月13日に多磨霊園墓参、21名参加）。

⑩エルム談話室、囲碁クラブともに北大東京オフィス会議室で開催。

②財政基盤の強化

①目標…「繰越金（単年度）残高300万円の維持・確保」に対し、196万円となりました。

②目標…「中長期会計繰越金

こと（会員数925名に対し185名以上の参加…「内訳議決権委任状（議長委任）提出133名、議決権行使書提出122名（内116名賛成）、出席者41名、オンライン28名）、議長（横田会長）と副議長（弘田裕副会長・医S57、石川裕・副会長・法S54）の選任について説明がされました。

第1号議案その1・事業報告では松浦総務委員長より、北大ジnpa2024の開催やメルマガ会員の大増増加、5年ぶりのOG会開催などが報告されました。第1号議案その2・収支報告では萱野聡財務委員長より、北大ジnpa2024年がギネス世界記録認定を目指したことによる集客のためのネット広告等で収支が悪化し、繰越金残高目標が未達成となるなど、財政悪化の現状が説明され、続いて2024年決算が適正に行われている旨の監査が驚田千臣監事より報告されました。

第2号議案（2025年度の事業計画と収支計画）は松浦総務委員長、萱野財務委員長よりそれぞれ説明があり、第1号議案同様に賛成多数により承認されました。第3号議案（規約改定）では、5年分会費の一括納入金が1万円から1万3000円に改定する旨、また事務局の変更（廣重晃似さんから松浦優美子さん）に伴う付則記載の変更、また、第4号議案（評議員人事と役員・理事・監事人事）につい

300万円の維持・確保」に対し、572万円となりました。

③広報・会員「ミニセッション」の拡充

①広報誌『FRONTIER』を8月、2月に発行した。

②東京同窓会の会員募集チラシ作成（卒業生向け配布）による会員拡大（「北大東京ジnpa2025」も配布）。

③ホームページの内容の充実化を図った（他同窓会とのリンク等）

④『メールマガジン』の発行をした（ネット会員の拡充）メルマガ会員 前年比58名増。

⑤関西同窓会との連携強化を行った（関西同窓会の例会へのWEB参加の紹介）

⑥SNS（Facebook等）のソーシャルネットワークシステム）の組織的運用を拡大した。

④募金・産学連携

①産学連携のサポート（同窓生が経営している企業と大学研究者のマッチングなど）

②大学発スタートアップの支援（スタートアップと大企業とのマッチングなど）

③同窓会や外部への寄付の呼びかけと北大ファンのコミュニティ作り（イベントを活用）

④北大基金の効率的な運用サポート。

⑤総会・役員会等の開催

では松浦総務委員長より説明があり、いずれも賛成多数で承認されました。2024年度の事業報告と2025度の事業計画と年度スケジュール、各人事は次の通りです。

最後に横田会長より会員の皆さまに向けて次のようなメッセージがありました。

「ジnpa開催はじめさまさまな経費が従来と比べてかなり大きくなっており財政状況が悪化しています。収入増をこれまで以上に目指さなければならぬ状況であり、まずは会員の維持と拡大が大切です。会員の皆さまの会社は北大OB OGが入社された際の東京同窓会への勧誘をお願いいたします。合わせて会報誌「フロンティア」への名刺広告や企業広告のご協力をお願いいたします。」

2024年度事業報告

（第1号議案）

①会員拡大並びに組織強化活動

①実績2562名（正会員925名（前年比+4名）、メルマガジン会員1637名（前年比+58名））

②『総会』を2024年6月8日に中央区京橋の明治屋ホールにて対面・オンラインでのハイブリット形式にて開催。横田北大理事・副学長、杉江校友会エルム会長、植松関西同窓会長他関係者ご出席。

③『北大東京ジnpa2024』を昭和記念公園にて開催、同時に焼肉

2回（9/19、3/21）、③理事会4回（9/19、12/9、2/13、3/21）、

④顧問学部・学科同窓会事務局局長会議1回（2/13）、対面・オンラインでのハイブリット形式にて開催。

⑥委員会の組織強化

①各委員会において、オンラインを積極的に活用し、効率的な組織運営、役割・機能の再整理、体制強化を図った。

②委員長会議を開催し、委員会相互の連携強化と課題解決に努めた。

⑦校友会エルムの支援

①東京同窓会のノウハウを共有して支援すべく、各委員会で活動を実施。

②校友会エルム主催の保護者向け就職相談会サピアタワーを支援。

③告知協力依頼への対応（メルマガ配信・HP掲載）

2025年度事業計画（案）

（第2号議案）

①会員拡大並びに組織強化活動

①組織交流の場として下記活動を計画する。

・第10回北大東京ジnpaを2025年5月18日に昭和記念公園にて開催予定。

・OG会…年1回の開催を予定。

②新年交礼会の開催を計画（2026年1月16日を予定）。

③産業別エルム会との交流促進（情報産業、食品産業）を図る。

令和7年度 会長・副会長・理事・監事（第3号議案）

★は特命理事 会長・副会長の丸数字は夫々の就任年数 理事・監事の丸数字は評議員年数

会長	⑥ 横田 浩 （1985経）		
副会長	⑦ 井上 修平 （1975工） ⑧ 弘田 裕 （1982医）	⑬ 樋口 達夫 （1977水） ⑤ 櫻田 功 （1983農）	★ 石川 裕一 （1979法） ⑦ 志済 聡子 （1986法）
理事	⑩ 土屋 裕 （1975薬） ⑭ 菅野 彰一 （1978工） ⑳ 大久保 英俊 （1981法） ⑦ 横井 成尚 （1982農） ⑧ 中村 秀治 （1985環科院） ⑭ 島田 久 （1986工） ④ 橋本 修 （1987法） ⑤ 依田 智子 （1990工） ⑯ 溝口 尚重 （1995農） ⑧ 渡辺 明日香 （2006法） ■ ⑦ 山本 淳博 （2018環科院） ■	⑬ 松谷 寛 （1977工） ⑦ 小口 正範 （1978法） ⑮ 畠山 昌則 （1981医） ⑦ 近藤 伸一 （1983工院） ⑧ 杉崎 順平 （1985歯 ） ⑰ 萱野 聡 （1987法） ⑫ 橋本 大志 （1989理） ㉔ 大西 裕子 （1991文修） ⑪ 滝内 邦弘 （1995情科院） ⑨ 原田 武志 （2007工） ① 神 明里 （2022文修） ■	⑨ 菅埜 誠 （1977経） ⑬ 福西 真 （1980法） ⑨ 廣重 勝彦 （1982法） ⑰ 岩崎 哲也 （1984工） ① 谷 明人 （1985工） ■ ⑰ 高橋 寛 （1987農） ⑦ 浅田 清 （1989歯） ⑧ 平野 友善 （1993文） ⑦ 松浦 永治 （1996法） ⑤ 宗野 裕治 （2008文）
特命理事	★ 伊藤 洋 （1973農）	★ 石川 裕一 （1979法）	
監事	⑯ 鷲田 千臣 （1983農）	① 廣瀬 智矩 （2009経修） ■	⑪ 冲崎 遼 （2009法）

令和7年度 スケジュール

		2025年									2026年			2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1	総会			14日(土)												13日(土)
2	評議員会						18日(木)						19日(木)			
3	理事会						18日(木)			11日(木)		12日(木)	19日(木)			
4	顧問会議 / 学部・学科同窓会 事務局長会議											12日(木)				
5	新評議員情報交換会				10日(木)											
6	新年交礼会										16日(金)					
7	組織強化活動															
	ジンバ（昭和記念公園）		18日(日)												17日(日)	
	OG会（期日未定）															
8	クラーク遺徳顕彰・墓参							12日(日) 霊園墓参								
9	広報活動・会報誌発行					フロンティア 発行						フロンティア 発行				
10	エルム談話室 ＜毎月第1金曜日予定＞															
11	ホームカミングデー						27日(土)									
12	校友会エルム総会			15日(日)												

- ④校友会エルムや他地区同窓会、各学部・学科東京地区同窓会（事務局長会議）との連携強化を進める。
- ⑤クラーク遺徳顕彰（多磨霊園墓参）を実施する（10月12日を予定）。
- ⑥エルム談話室などの勉強会や囲碁クラブなど趣味の集まりの充実を図る。
- (2)財政基盤の強化**
- ①目標…「繰越金（単年度）残高300万円の維持・確保」。
- ②目標…中長期会計繰越金300万円維持・確保。
- (3)広報会員「ミニケーシ」の拡充**
- ①広報誌『FRONTIER』を8月、2月に発行する。
- ②「北大東京ジnp2026」チラシを会員に配布と卒業生向けに「北大東京同窓会の会員募集&北大東京ジnp2026」のチラシを配布し、会員拡大を図る。
- ③WEBの内容の充実化を図る（大学WEB、他同窓会等組織とのコンテンツ連携、デザイン改修等）
- ④『メールマガジン』の発行をする
- ⑤SNS（Facebook等）のソーシャルネットワークシステム）のコンテンツとWEBとの連動を拡充する。
- (4)募金・産学連携**
- ①北大創基150周年（2026年）に向けた大学の募金活動への協力（各同窓会との連携）
- ②北大関係者のコミュニティ作りを支援（将来の寄附やスタートアップ

- 支援につなげる）
- ③大学発スタートアップへの支援（経営者と既存企業等とのマッチング）
- ④北大基金の効率的な運用を支援（大学への適切な情報提供）
- (5)北大ファンドへの支援**
- 北大ファンド（北大Green Frontier Fund）への支援（当初は情報共有）
- (6)総会・役員会等の開催**
- ①北大東京同窓会2025年度スケジュール」参照。
- ②出席者確保に向け、オンラインを積極的に活用したハイブリッド形式での開催を継続すると同時に、対面での参加も促し、OGの情報共有の強化を図る。
- ③評議員の交流と情報交換を図るため、新評議員情報交換会を実施する（7月10日を予定）。
- (7)委員会の組織の強化**
- ①各委員会の役割・機能の拡充と体制強化を図る。
- ②委員長会議を開催し、各委員会の機能・連携強化と体制の充実を推進する。
- (8)校友会エルムの支援**
- ①東京同窓会のノウハウを共有して連携、支援すべく、各委員会で活動をする。
- ②本学主催の進学相談会並びに校友会エルム主催の就職相談会を支援する。
- ③告知協力依頼への対応（メールマガジン配信・HP掲載等）

講演・恐竜研究最前線

講演者：北海道大学総合博物館教授・副館長 小林快次さん
「プロフィール」

福井県福井市出身。1995年ワイオミング大学地質学地球物理学科を首席で卒業。2004年サザンメソジスト大学地球科学科で博士号取得。2005年から北海道大学総合博物館勤務、2009年准教授、2019年教授就任。

ゴビ砂漠やアラスカ、カナダなどで発掘調査を行う世界的な古生物学者で専門は古脊椎動物学。著書に『恐竜は滅んでいない』『恐竜まみれ』『恐竜学』など。2010年からNHK「子ども科学電話相談」の恐竜担当。

講演内容(抜粋)
◆恐竜研究の意義

「人類は絶滅するか？」と問われ
たら、6600万年前の恐竜絶滅



小林快次教授

と同じように「人類は100%絶滅する」と断言します。恐竜は、巨大隕石の衝突が原因で地球に環境変化が起こり絶滅しましたが、温暖化や二酸化炭素量の増加等の環境変化を見れば、現在の地球の方が危険だと考えています。恐竜の生態や絶滅史に人類の未来を考えるヒントが得られると考えています。

◆北海道の恐竜発見の重要性

北海道では複数の恐竜が発見されており（中川町・夕張市、芦別市、むかわ町等）、特にむかわ町で発見された「カムイサウルス・ジャポニクス」は、全身骨格の約8割が発見され、保存状態が極めて良好です。福井県の種より5000万年新しく、ティラノサウルスと同時代に生きた日本初の、本格的な恐竜時代の恐竜として学術的にも国際的にも重要です。

◆北大での研究

北大のフィールドイブズムやバイオニアスピリッツは自分の研究の支えになっており、貴重なものに触れながらのびの研究させてもらっています。骨細胞数の計測にAIを使い骨の構造から行動（四足歩行or二足歩行）の推定したり、デジタルでの全身骨格を復元するなど、恐竜研究のやり方は進化し、教え子の論文が英科学誌『ネイチャー』に掲載されるなど次世代も育つてきています。これからも恐竜研究で大学に貢献したい。

令和7年度 評議員(世代)一覧表 〔第3号議案〕

[illegible]

令和7年度 評議員(学部)一覧表〔第3号議案〕

字部 享年	名前	就任 年数	理事	委員会	字部 享年	名前	就任 年数	理事	委員会	字部 享年	名前	就任 年数	理事	委員会		
農学部					理学部					文学部						
1982農化	横井 成尚	7	理事		1984数学	鈴木 徹	19			1991文修	大西 裕子	20	理事	募金・屋宇連携委員会		
1987農工	高橋 寛	17	理事	広報委員会委員長 募金・屋宇連携委員会	2005環科院	梶原 鉄平	1			1993文	平野 友善	8	理事	財務委員会委員長 総務委員会		
					2008環科院	重元 貴将	1			2008文	宗野 祐治	5	理事	総務委員会副委員長		
小計	2名															
					小計	3名				小計	3名					
獣医学部																
1970獣医	采 孟	15			工学部					教育学部						
1984獣医	矢原 芳博	11			1972機械	留目 一英	15			1991教育	中村 貢三	1				
1996獣医	林崎 弥生	3			1973建	足立 守	16									
1996獣医	渡邊 真弓	3			1977金属	升光 法行	15			小計	1名					
					1977電子	松谷 寛	13	理事	情報処理委員会委員長							
小計	4名				1982電気	松尾 望	15			法学部						
					1983応化院	近藤 伸一	7	理事		1978法	小口 正範	7	理事			
薬学部					1984機械	岩崎 哲也	17	理事		1980法	福西 真	13	理事			
1973薬	近藤 達仁	15			1985機械	菊地 正武	19			1981法	大久保 英俊	20	理事	総務委員会副委員長		
1975薬	土屋 裕	10	理事		1985環科院	中村 秀治	8	理事	情報処理委員会委員長	1981法	高見 之雄	15				
1986薬修	川崎 ナナ	1			1985資源	谷 明人	1	理事		1982法	廣重 勝彦	9	理事	募金・屋宇連携委員会委員長		
					1990電子	足立 直子	20			1986法	志清 聡子	14	副会長			
小計	3名				1990金属	上原 博英	1			1987法	橋本 修	4	理事			
					1991衛生	友井 尚	3			1990法	八谷 俊雄	19		広報委員会		
医学部					1991衛生	岡井 誠二	3			1996法	松浦 永治	7	理事	総務委員会委員長		
1981医	畠山 昌剛	15	理事		1995情科院	滝内 邦弘	20	理事		2006法	渡辺 明日香	8	理事	総務委員会副委員長		
1984医	福島 亮治	15														
1986医	大塚 吾郎	19			小計	15名				小計	10名					
1989医	杉森 裕樹	13														
1993医	松本 明郎	13			水産学部					経済学部						
2001医	中田 勝巳	19			1977食修	樋口 達夫	14	副会長		1976経済	陣谷 義直	5		広報委員会		
					1986食	中田 邦彦	15			1977経済	菅笠 誠	9	理事	総務委員会副委員長		
小計	6名				1994食修	大野 隆明	14		総務委員会	1982経済	永松 昌一	5				
					2004資源機能	松倉 広平	1			1982経済	佐々木 俊夫	1				
歯学部										1985経済				横田 浩	8	会長
1985歯	杉崎 順平	8	理事		小計	4名				1986経営	松山 哲人	7				
1989歯	浅田 満	7	理事	クラブ連携顕彰・募金委員会						2001経営	坂本 茂	17		総務委員会 募金・屋宇連携委員会		
										2011経営	西館 中人	8		総務委員会		
小計	2名									2015経修	上溝 研吾	10		相補・文芸委員会副委員長 財務委員会		
										小計	9名					
										合計	62名					

1973農	伊藤 洋	特命	理事		1979法	石川 裕一	特命	副会長	募金・産学連携委員会副委員長
-------	------	----	----	--	-------	-------	----	-----	----------------

令和7年度 委員会役員

★は特命理事 丸数字は評議員の就任年数

委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務委員会 (事務局)	⑦ 松浦 永治 (1996法)	⑨ 菅埜 誠 (1977経)	⑧ 平野 友善 (1993文)
		㉔ 大久保 英俊 (1981法)	⑭ 大野 隆明 (1994水院)
		⑧ 渡辺 明日香 (2006法)	⑫ 坂本 茂 (2001経)
		⑤ 宗野 裕治 (2008文)	④ 西舘 卓人 (2011経)
			③ 我妻 孝則 (2013医)
			○ 米子 智裕 (1990農)
組織・交流委員会	⑦ 山本 淳博 (2018環境院)	⑮ 小中出 拓也 (2011工院)	○ 後藤 さなえ (1988農)
		⑩ 上満 研吾 (2015経修)	○ 関 良子 (2011法)
		○ 西野 順子 (1989農院)	○ 久野 和哉 (2012経)
		○ 山田 尚大 (2011工院)	○ 川原 史識 (2013農院)
		○ 辻本 陽平 (2013情報院)	○ 田村 康将 (2015情報院)
			○ 橋本 和大 (2016水院)
			○ 内山 壮 (2016文)
財務委員会	⑮ 萱野 聡 (1987法)		⑩ 上満 研吾 (2015経修)
	⑧ 平野 友善 (1993文)		○ 早川 美奈子 (2019函院)
広報委員会	⑪ 島田 久 (1986工)		⑤ 陣谷 義直 (1976経)
	⑮ 高橋 寛 (1987農)		⑬ 八谷 俊雄 (1990法)
			⑦ 山本 淳博 (2018環境院)
			○ 浦崎 稔史 (2010工院)
			○ 青山 千穂 (2011農院)
			○ 高野 葵 (2013環境院)
			○ 谷畑 敦史 (2015経)
情報処理委員会	⑬ 松谷 寛 (1977工)	⑨ 原田 武志 (2007工)	⑫ 浜名 純 (1973農)
	⑧ 中村 秀治 (1985環科院)		⑨ 千葉 寛之 (1988情科院)
			⑤ 依田 智子 (1990工)
			○ 岩波 浩太 (2001農)
			○ 池谷 航 (2021農)
募金・産学連携委員会	⑧ 廣重 勝彦 (1982法)	⑧ 井上 修平 (1975工)	⑫ 高橋 寛 (1987農)
		⑪ 菅野 彰一 (1978工)	⑫ 萱野 聡 (1987法)
		○ 杉江 和男 (1970工院)	㉔ 大西 裕子 (1991文修)
		★ 石川 裕一 (1979法)	⑫ 溝口 尚重 (1995農)
			⑫ 坂本 茂 (2001経)
			⑫ 高橋 良佳 (2004医)
			○ 永田 明 (1979農)
			○ 楯 裕史 (1998法)
			○ 常松 尚史 (2008経)
クラーク遺徳顕彰・墓参	⑦ 浅田 清 (1989歯)	○ 平田 更一 (1969理)	○ 前田 直寛 (1968工)
			○ 清水 慧 (1968工)
			○ 関口 光雄 (1968工)

風景との対話

坂の街小樽

青木康明 (S47・教育)

ご存じの通り、小樽は港の街である。そして、天狗山を背にした坂の街でもある。

近年、知らない人との会話の中で小樽出身であると告げると、「きれいな街ですね」といった反応が返ってくるのだが、これは市が観光に力を入れ始めた以降の、

運河から港にかけての整備された一帯を見ての感想だろうと理解している。

自分は、小学校から昭和47年大卒卒業までの青春時代をこの街で過ごした者であるが、その頃の運河付近や港の一帯は観光客が訪れるような場所ではなく、専ら港灣

業に携わる人達が行き交うようなところであった。逆に、運河より山側の地域は、今とは違って、地元住民達の生活で賑わい、活気に満ちていた。

私の家は天狗山に程近い位置にあったが、街中へはいつもバスなど使わず歩いて行ったものだ。小樽の街は歩いて回るのに丁度よい位の規模ではあるが、今思うと坂道をよく歩いたものだ」と改めて感心する。

家から街中に向かう途中に小樽公園がある。新緑の頃、ここから望む小樽湾の

景色が特に好きだった。木々の緑の合間から見える小樽湾の茫洋とした眺めとその先の海岸線は一幅の絵のように記憶として残っている。

小樽公園はお祭りや花火大会等いろいろな行事の中心地で、公園通りに沿ってよく夜店が立ち並んだのを憶えている。また、公園通りの一角にはミルクホールがあり、散策の途中にソフトクリームを食べ一休みするのがお決まりだった。

公園通りをさらに下ると「花園銀座通り」と呼ばれる当時一番の繁華街であった通りになるのだが、格段、用も金もなく本屋で立

ち読みしたり喫茶店で漫画を見て暇つぶしをしたりするのを唯一の楽しみとしていた。

ぶらぶら歩きを再開し、通りを小樽駅方面に向かって進むと、妙見市場やニューギンザパートといった地元民御用達の店の活況が伝わってくる。さらに歩を進め、都通り商店街のアーケードを抜けると駅前通りへと出るが、小樽駅の、名曲「小樽の人よ」の歌詞そのままの、風情ある姿を間近に見て、散策を終える。

さてその先はと言うと、バス通りに沿って、ひたすら坂道を上って家まで帰るのだが、当然乍ら、帰りの足はいつも重かった。



小樽公園から望む小樽湾



小樽駅前の風景

新社会人
歓迎!

北大東京 ジンパ 2025

2025年5月18日⑧ 国営昭和記念公園





クラーククラブの皆さん



歯学部OBの皆さん



菅原隆夫さんファミリー



トクヤマの皆さん

◆クラーククラブ 松下国弘さん

合唱団OBのクラーククラブは毎月2回集まり練習をしています。ほかの合唱団OBや友人・知人との出会いの場といたく、今年で3回目の参加となりました。

◆グループ参加のみなさんの一言!!

物価や人件費の上昇により、参加費も値上げとなりましたが、私の懐事情に比べたら「まだ安い!」と声を大にして言いたい!ちなみに実行委員たちは無給、情熱100%で動いていますので、どうぞご期待ください!

うか今後とも後輩たちを温かい目で見守ってやってください。これからのジンパは、山本くんをはじめとする新生チームに託されます。未来の北大東京ジンパにどうぞご期待ください!

◆歯学部OB 佐藤文康さん

歯学部同窓会関東支部のグループは、ノリがよく例年多数の卒業生が参加しています。今年は総勢16名が楽しみました!

◆菅原隆夫さん

孫も含めて三代で参加しました。楽しい一日を過ぎて大変満足です。OBが1人居ればOKとい

◆トクヤマ 宗野裕治さん

晴天、陽気、まさにジンパのための日でした!我々は会社のOB OGのグループでしたが、その垣根を越え、いろいろな方と楽しく過ごすことができました。ボランティアの方々には、厚くお礼申し上げます。北大関係者が一つになる素晴らしいイベント。単身赴任先の四国から、来年もまた参加させていただきます。

組織・交流委員会 委員長
山本 淳博

(H30・環境院)

「来年から委員長よろしくね」という一言から始まったジンパ実行委員長としての仕事は、まずどこからどう動くかというところを把握することから始まりました。

前任の山田さんや上満さんが行っていた全体の動きを詳しく把握しておらず、何をどうやっていたのかを洗い出すところからのスタートでした。まあなんとかなるでしょうと甘くみていた当初の自分にはお灸を据えておこうと思います。

最終的にはいろんな人に手伝ってもらうことで当日を迎えることができました。改めてこの場を借りてジンパ委員のメンバーとして動いてくれた方々にお礼を申し上げます。また、当日ギリギリまで食材調整をしてくれたり、

今年から委員長のよろしくねという一言から始まったジンパ実行委員長としての仕事は、まずどこからどう動くかというところを把握することから始まりました。前任の山田さんや上満さんが行っていた全体の動きを詳しく把握しておらず、何をどうやっていたのかを洗い出すところからのスタートでした。まあなんとかなるでしょうと甘くみていた当初の自分にはお灸を据えておこうと思います。

「来年から委員長よろしくね」という一言から始まったジンパ実行委員長としての仕事は、まずどこからどう動くかというところを把握することから始まりました。前任の山田さんや上満さんが行っていた全体の動きを詳しく把握しておらず、何をどうやっていたのかを洗い出すところからのスタートでした。まあなんとかなるでしょうと甘くみていた当初の自分にはお灸を据えておこうと思います。

最終的にはいろんな人に手伝ってもらうことで当日を迎えることができました。改めてこの場を借りてジンパ委員のメンバーとして動いてくれた方々にお礼を申し上げます。また、当日ギリギリまで食材調整をしてくれたり、

今年から委員長のよろしくねという一言から始まったジンパ実行委員長としての仕事は、まずどこからどう動くかというところを把握することから始まりました。前任の山田さんや上満さんが行っていた全体の動きを詳しく把握しておらず、何をどうやっていたのかを洗い出すところからのスタートでした。まあなんとかなるでしょうと甘くみていた当初の自分にはお灸を据えておこうと思います。

世界一高いジンパ

参加費が高い
なんて言わせない

上満研吾 (H27・経済院)



前任の上満さん

「来年から委員長よろしくね」という一言から始まったジンパ実行委員長としての仕事は、まずどこからどう動くかというところを把握することから始まりました。前任の山田さんや上満さんが行っていた全体の動きを詳しく把握しておらず、何をどうやっていたのかを洗い出すところからのスタートでした。まあなんとかなるでしょうと甘くみていた当初の自分にはお灸を据えておこうと思います。

最終的にはいろんな人に手伝ってもらうことで当日を迎えることができました。改めてこの場を借りてジンパ委員のメンバーとして動いてくれた方々にお礼を申し上げます。また、当日ギリギリまで食材調整をしてくれたり、

今年から委員長のよろしくねという一言から始まったジンパ実行委員長としての仕事は、まずどこからどう動くかというところを把握することから始まりました。前任の山田さんや上満さんが行っていた全体の動きを詳しく把握しておらず、何をどうやっていたのかを洗い出すところからのスタートでした。まあなんとかなるでしょうと甘くみていた当初の自分にはお灸を据えておこうと思います。

づいたのは、彼の悲鳴と共に現れた「北大東京ジンパレジェンド」たちのフルサポート開始を目にしたとき。これはマズい、と目が覚め、私は1週間前に福岡から緊急参戦を決意!

◆競技スキー部OB 大久保栄斗さん
はじめまして。2025年経済学部卒の大久保です。2025年

◆北鐘 近藤伸一さん
毎年、工学部応用化学部門の同窓会「北鐘」の旗の下、卒業したばかりの若手から大先輩までが学生の頃に帰って、札幌生ビールとジンギスカン鍋を囲んで盛り上がっています。

◆イヨシコラ 小林隆英さん
ジンギスカンとイヨシがこんなに合うなんて！中央ローンの青空の下でまたこのペアリングを楽しみたい！



基礎スキー部OBOGの皆さん

◆応援団OB 安藤俊春さん
東京延齢会は北大応援団のOB会東京支部です。いつもお世話になっておりますが、今年は20名以上の仲間が集まり、最大の参加団

◆弓道部OB 平野友善さん
今回初めて弓道部のグループとして集まり、家族も含めて14名が参加しました。初参加メンバーも多く、東京でのジンパを楽しむことができました。中には「半世紀ぶりのジンギスカン」という方も。世代は違えども、同じ弓道部OBOGということで、ビール・ジンギスカンを囲み、たくさん会話ができて大満足でした。



弓道部OBOGの皆さん



イヨシコラの皆さん

5月18日（日）、西立川にて開催された北大ジンパでは、競技スキー部OB会東京支部の新人歓迎会も開かれましたので、報告します。
在学中は北大競技スキー部に所属し、最終学年では主将を務めました。今年4月からは東京で働き始め、社会人生活にも少しずつ慣れてきました（：のような気がしています笑）。そんな中、ご縁あって北大ジンパに参加させていただきました。
このイベントに参加してまず驚いたのは、「卒業生のみなさんの母校愛の強さ！」です。40年以上前に卒業された大先輩方から、家族で参加される方まで、本当に幅広い年代の北大関係者が集まり、場の空気は終始和やかでした。そんな光景を目の当たりにして、「北

◆北大交響楽団OB 改田和弘さん
北大交響楽団のメンバーで参加しました（2年連続3回目）。美味しいお肉とお酒とともに、昔の思

体となりました。今後ともよろしく願います！



東京延齢会（応援団OB）の皆さん



北鐘の皆さん

大に通えてよかったなあ」と心から思いました。
北大生の多くは、大学周辺でのひとり暮らしを経験し、それぞれ濃い学生生活を送っていたはずですが、勉強に打ち込んだ日々、部活やサークルに明け暮れた時間、友人の家で夜を徹して語り合ったこと、吹雪の中での通学、そして北海道を旅した思い出など。
そんなエピソードたちが、世代を越えて共有されているように感じました。世代間の違いが叫ばれる今でも、北大という共通点が深い絆をつないでいるのかもしれない。
イベントの最後には、「都ぞ弥生」を全員で大合唱しました！ジンパは感動的なフィナーレを迎え、解散となりました。

◆基礎スキー部OB 藤島直人さん
北大基礎スキー部は今年も還暦前後の世代を中心に17名で参加しました。冬のOBスキー合宿はも

い出話に花を咲かせ、たまたま一緒にした馬術部のお2人ともお話ができて、楽しい時間を過ごせました。そして、1歳半の息子も終始上機嫌でした（笑）。



北大文Ⅱ系1983 + 土木62期の皆さん



競技スキー部OBOGの皆さん

これまで東京支部の皆様とはZoom越しのやりとりが中心でしたが、今回、直接お会いできたことで、団体が活動が続けていく裏には多くのOBOGの皆さんのご支援があるのだと実感しました。本当にありがとうございます。これから、私も「支える側」として少しずつ恩返ししていければと思っています。
そして最後に、ちょっとした現役情報を紹介させていただきます。昨シーズン、北大競技スキー部はインカレ2部で男子3位という快挙を達成しました！今シーズンは1部昇格を目指して、後輩たちも気合十分で練習に励んでいます。今後とも変わらぬ温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします！

◆コスモスイニシア 中村貢三さん
コスモスイニシア「もう北会」です。毎年、北大から入社する新入社員を、現役社員と卒業したOBOGで囲んで楽しんでいます。懐かしいジンギスカンと美味しいビールで乾杯！友タレ永く友タレ！



コスモスイニシアの皆さん



北大交響楽団OBOGの皆さん

	東 京	札 幌
1871年 1月	ケブロン官園・農学校設置提言	
1871年10月	ケブロン博物館設置提言	
1872年 5月	芝に「開拓使仮学校」設置	
1874年 3月	ライマン東京に博物館設置提言	
1875年 7月	「開拓使仮学校」札幌移転	移転した仮学校を「札幌学校」と改称
1875年 8月	仮学校跡地に「北海道物産縦観所」設置	
1876年 5月	「東京仮博物場」と改称し、公開開始	
1876年 8月		「札幌農学校」が開校
1877年		「札幌仮博物場」設置(運用開始は1878末ごろ)
1879年 1月		農学校「演武場内標本室」開設
1881年 6月	「東京仮博物場」閉鎖	所蔵物品が関係博物館などに移管

正式名称「開拓使東京仮博物場」が今回の主役です。

◆開拓使の博物場について

ケブロンは、開拓使に対して開拓の成功には有為な学生を育てる教育が重要であり、そのためには農学校とともに、図書館と博物館

東京にあった 北海道大学の研究資源

[前編]

～仮学校の跡地にできた 開拓使東京仮博物場～



北方生物圏フィールド科学センター
准教授

加藤 克
(H7・文)

H7文学部卒業、H9大学院文学研究科修士課程修了、H11大学院文学研究科博士課程中途退学、H11農学部教務職員、H13北方生物圏フィールド科学センター助教、R5北方生物圏フィールド科学センター准教授

北海道大学に現在まで続く影響を及ぼしていることはほとんど知られていません。この小文では、「東京にあった北海道大学の研究資源」について紹介したいと思います。

◆開拓使仮学校の跡地について

開拓使は、北海道開拓のためにアメリカ農務局長のケブロンを御雇教師頭取顧問として招聘し、開拓政策の策定のための提言を求めました。その提言には輸入した動植物と農法を管理、学習する官園と農学校の設置などが含まれており、これが札幌農学校、現在の北海道大学が誕生する契機となりました。この提言を受けた開拓使は、最終的には札幌に農学校を設置する計画を定めたものの、当面は東京に中継地となる官園と学校を設



図1：「東京全国」部分



図2：「東京全国」部分拡大

向（地図では上方向）に向かうと突きあたり増上寺があります。その右手に「開拓使出張所」として開拓使の東京出張所がありましたが、そのわきに「仮（仮）博物館」【図2】という記載を確認することができます。開拓使仮学校の跡地にできたこの「仮博物館」、

置することになりました。1872年に開拓使の東京出張所構内に設置されたこの学校が開拓使仮学校になります。開拓使仮学校の具体的な設置経緯や学校で行われていた教育の内容、1875年7月札幌移転にあたって「札幌学校」と改称されたことなどについては『北大百年史』や井上(2008, 2012)【※】に詳しいので、こちらをご覧ください。ここでは北大の歴史では触れられない札幌移転後の仮学校の建物・跡地の状況についてみてみましょう。

【※】井上高聡 2008年「開拓使仮学校の設立経緯」(北海道大学大学文書館年報 3:1-17) 2012年「札幌農学校開校(1876年)の経緯」(北海道大学大学文書館年報 7:1-20)



図3：ベンジャミン・ライマン

の重要性も示していました。北海道の自然にかかわる標本を収集して教育に利用すること、それらを本州各地や諸外国と交換することで、さらに教育材料を得ることができることから、それを管理する博物館が必要であると示したのです。開拓使としても、当時開催されていたいくつかの万国博覧会や内国勸業博覧会に北海道の物産を出品するための資料収集に役立つことと、北海道の自然の豊かさを展示することによる移住の促進、事業が順調に進展していることを示すことになるので、博物館の設置を進めることになります。

この提言によって、1875年の東京仮博物場(当初は北海道物産縦観所)、1877年の札幌仮博物場、1879年の函館仮博物場の3館が開拓使によって設置されることになります。このほか、クラーク、ホイラー、ペンハローら農学校教師が中心となって演武場(現在の札幌時計台)の中に設

◆東京仮博物場の設置準備について

ケブロンによる博物館の重要性の提言はすぐには具体化しませんでした。最初の博物館である東京仮博物場の設置にあたっては、開拓使に雇用され、北海道の地質調査にあたったライマン【図3】の働きかけが影響を及ぼしました。

ライマンは、1874年3月に開拓使の責任者であった黒田清隆に対して、自分が採集していた岩石・鉱物標本だけでなく、北海道の動植物、海草、農水産物やアイヌと和人の習俗を示す文化資料、北海道の風景写真や地図、図書を含めた総合的な博物館を東京に作ることを要望しました。ライマンの手紙には、この博物館は学生教育だけでなく、一般の人々の学びに有益なもので、開拓使の評価を高めるもの、という意識が示されています。ケブロンや農学校のアメリカ人教師たちと同じ思想に基づいていました。

黒田から博物館設置担当者となることを認められたライマンは、

◆東京仮博物場について

ライマンの提言の翌年にあたる1875年8月、開拓使仮学校跡地に「北海道物産縦観所」が設置されます。設置時の事務総括責任者は、のちに札幌で開拓使麦酒(ビール)製造所の設立の中心人物となる村橋久成でした。村橋が残した記録によればこの施設の目的は、北海道の物産や、北海道



図9：東京仮博物館で展示されていた
札幌麦酒醸造所落成式写真

その一つは、東京仮博物館が所蔵していた資料です。東京仮博物館の廃止にあたって所蔵していた5000点以上の資料は、現在の東京国立博物館に700点ほど、

10】が同行して指導を受けつつ、展示されていた岩石標本を採集していたこと、展示のために標本の説明書きを行っていたことが知られるのみです。

東京仮博物館の事業に札幌農学校が具体的に関与した記録が存在しないため、北海道大学の歴史では開拓使仮学校の跡地に成立した東京仮博物館の存在に言及されることはありませんでした。しかし、北海道大学と北海道に継承され続けてきた文書や研究資源を丁寧にみてゆくと、東京仮博物館が現在の北海道大学に与えた影響を把握することができそうです。

現在の市立函館博物館（開拓使函館仮博物館）に500点ほどが移管されました。これらは、生産品やアイヌの文化資料など、勸業にかかわる資料が多かったようです。一方、ライマンの岩石標本や動物のはく製標本など、学術標本として利用することができる標本3240点は、札幌農学校演武場の標本室に送られました。このほか、具体的な内容は把握できていませんが、開拓使の札幌仮博物館（のちの札幌農学校所属博物館、農学部博物館、現北方生物圏フィールド科学センター植物園内の博物館）に絵画資料などが送られていました。



図10：ライマンと仮学校の学生だった測量生徒たち

もう一つは、東京仮博物館で働いていた吉川昌則と村田庄次郎という2人の存在です。吉川と村田は東京での勤務を離れたのち、札幌農学校の博物館（農学校移管前の札幌仮博物館時代を含む）で標本採集、剥製師として勤務していました。中でも村田は四半世紀の勤務期間中、数千点を超える鳥獣の標本を北大に残しました。村田の活動は、ブラキストン標本をはじめとする重要な研究資源が北大に集約される背景になり、日本有数の鳥類学研究の拠点としての基盤づくりに貢献したのです。

このように、開拓使仮学校は北海道大学の前身としての存在だけでなく、その跡地に存在した東京仮博物館の機能を通じて、北大が誇る研究資源の蓄積にも寄与していました。

❖ 札幌博物館150年史 刊行支援のお願い

この小文は、1877年に設置された札幌仮博物館の後身である

旧札幌農学校所属博物館、旧農学部博物館、北方生物圏フィールド科学センター植物園内博物館の歴史をまとめた『札幌博物館150年史』の原稿に基づいています。北大の博物館の歴史と蓄積された研究資源の紹介を目的とした本書は、北大200周年、300周年にも利用できるような書籍として一定期間・部数を販売したのち、学生が気軽に手に取って研究に活用できるように附属図書館のHUSCAPに掲載するという形での刊行を目指しています。この特殊な刊行支援のための寄附を北大のフロンティア基金を利用してお願いしています。ご寄附いただいた方には金額を問わず刊行時に電子原稿を提供することとしています。なにとぞ協力ください。

また、2025年4月からしばらくの間、植物園内博物館では企画展示「札幌博物館の150年」を開催しています。博物館に引き継がれた演武場（札幌時計台）の扁額や、開拓使によって製作されたウイスキーの試作品など、普段展示できない資料群を展示しています。札幌にお越しの際は、是非お立ち寄りください。

（図所蔵機関）
図1～2: 国際日本文化研究センター
図3～6、図8～10: 北海道大学附属図書館
図7: 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館

展示が始まった直後の新聞には次のような記事が掲載されています。『東京芝増上寺開拓使出張所の裏手なる同使の博物館は十畝の喬木が満場に殖繁（はえしげ）り林霰（りんご）あり葡萄（ぶどう）あり、種々の奇卉香草を植へ付け盆栽の花は四面に紅白の花氈（もう

および東京の官園で栽培・飼養している外国から導入した動植物を一ヶ所で一般に展示公開して、北海道が豊かであることを伝えて移住の意欲を高めることとされています。あわせて、フィデルフィアやパリで行われた万国博覧会や内国勸業博覧会への北海道物品の出品業務なども担うことになっていました。この縦観所の整備が進み、翌年5月に「東京仮博物館」【図4】として展示公開が開始されます。札幌農学校・北海道大学の前身である開拓使仮学校跡地がどのようになっていたのか、みてゆきま



図4：東京仮博物館正門



図5：東京仮博物館屋外の様子



図6：東京仮博物館に設置されていたヒグマの檻

せん）を布き詰めたが如く真に二箇の小公園なり。獣類は大なる驛牛（あかうし）一頭、綿羊五六頭、熊二匹」

盆栽や輸入果樹が栽培されている様子【図5】や、ヒグマやエゾオオカミ【図6・7】を飼育していた様子の写真も附属図書館に残されています。また屋外の生物展示だけでなく、屋内の展示も耳目を集めていたようです。

『其園内に小博覧会の設あり。北海道地方の珍奇奇獣を乾し固め、巧み其の全体を存する者夥しく、或は各種の獣皮或は焼酎に浸たる種々の獣類あり。或は海藻山花或は北海道にて制したる薫の鹿、薫の鮭、蝦夷人の漁獵に用ゆる三人乗の皮張り舟、漁獵に用いる革衣、土人の細工物、又札幌本



図7：東京仮博物館で飼育されていたエゾオオカミの図



図8：アイヌの住宅模型や土器が展示されていた

仮博物館の開鎖直前である1880年10月であることから、伊藤などの農学校関係者が収集した資料が東京に送られていたかどうかもはつきりしません。札幌農学校の歴史にかかわる人物が東京仮博物館に果たした役割としては、ライマンの地質調査にあたって開拓使仮学校の生徒の一部【図

庁に用の諸建物より山水の景色残らず写真に写し取りて縦覧に供へたれば、其実況真に三百里外を座上看る如くなり（横浜毎日新聞1876年5月31日記事）」

北海道産の動物のはく製や毛皮、液浸標本、植物標本といった自然史博物館の展示資料だけでなく、開拓使が製造・出品して万国博覧会で受賞もしていた鹿や鮭の燻製肉などの製造物、「えぞみやげ」として江戸時代から北海道の物産として知られていたアイヌの工芸品【図8】、北海道の様子を示す写真【図9】などが展示される総合的な博物館になっていたことが知られます。

❖ 東京仮博物館と 札幌農学校の関わり

東京仮博物館は、開拓使の廃止にもなつて東京出張所が廃止された1881年に閉鎖することになります。短期間しか存続しなかったため、この博物館を訪れたことを契機として札幌農学校に進学した若者がいたという記録は残されていません。東京仮博物館に展示されていた資料は、札幌本庁、函館・根室支庁から送付されていたが、農学校の一期生伊藤一隆が卒業して開拓使の博物館関係の職員となったのは東京

き空間が仮学校の跡地に誕生していたのです。開拓使仮学校の跡地は、ライマンが構想していたような北海道をテーマとした社会教育の場として機能し続けていたのです。



知識の生産者から 学びの支援者へ

―北大時の留学経験に始まる米国生活―

北海道大学に入学した当時、私の将来の夢は「仙台市役所勤務」。親が自営業ということもあり、「安定」した9時から5時までの勤務に憧れていた。ところが、法学部に進学して古矢ゼミ（古矢旬先生）に参加して、「これはおもしろい」「もっと勉強したい」という気持ちにかられ、3年次には交換留学生としてマサチューセッツ大学アマースト校に留学する機会を得た。英語をほとんど話せないにもかかわらず、学部生向け社会学や歴史学の授業を選択して、朝も夜も図書館にこもり、大事な「学生との交流」や「現地での生活経験」をながしにしていた点もあるが、古矢ゼミ参加と交換留学経験がその後、アメリカで生活をするようになったきっかけとなる。

●米国留学と図書館勤務

学士終了後、修士課程と博士課

程に進学した。途中でヴァージニア州立大学歴史学部（修士課程）に転学。今思えば、自分の語学力のなさを理解しない無謀な挑戦だったと感じている。諸般の事情で、2年目は休学。とりあえず修士号だけは取得しようと思い、3年目に復学。必修科目もすべて取り終えたため時間に余裕ができ、大学附属図書館でアルバイトを始めたのが、のちに図書館に勤務するきっかけとなった。

●現職までの様々な経験

当時、アメリカで「多様性」の重要性が叫ばれていたため、図書館の職員も「多様化」しようということになり、たまたま非白人ということとで、図書館司書の学位もないまま正職員に採用された。日本語ができる図書館スタッフが必要だったためである。採用されたのはエレクトロニック・テキスト・センターという部署で、ここでは日本語の古典文学をインター

ネットを読むことができるようにするという仕事を担当した。X M Lも古典文学も知らない私が、たまたま「日本語が読み書きできる」というだけで図書館に採用してもらえたというのは縁とタイミングとしかいいようがない。図書館就職を機に学生ビザから就労査証に切り替え、図書館がスポンサーとなって永住権を申請することになった。

そうこうするうちに図書館内で組織改変が起こり、図書館司書の学位（修士号）を持たない私には他の部署に配置されることもなく窓際族となってしまう。そこで一度民間で働いてみようという思いから、グーグルの時給社員（下請け契約社員）に応募して「日本語による検索結果向上員」に採用され、自宅からオンラインで仕事を

していた。2006年の話である。その後、一時日本に戻り就職。永住権を保持するため再度渡米。以前面識のあった日本人司書をカリフォルニア大学バークレー校東亜図書館に訪ねて、「仕事を探しているので仕事があればよろしくお願いします」とご挨拶をしたところ、時給でアルバイトならということと仕事をさせていただいた。その後、偶然にもフルタイムのポジションで空きが出たため応募して採用となった。またまた運と縁とタイミングである。さらにハワイ大学マノア校のポジションに応募してハワイに移動した。ハワイに住むこと自体に魅力を感じなかったため、辞職して仕事のあてもなくサンフランシスコに戻った。「日本語ができる、日本で働いたことがある」ということだけを武器に就職活動をするも、日本語ができるアメリカ人も多

く、まったく就職ができないでいたところ、サンフランシスコ市立図書館が「日本語司書」を募集していたので応募したところ採用となり、現在日本語資料司書（フルタイム）として勤務している。

●公共図書館の現実

ニューヨークタイムズ紙に「公共図書館とくに大都市の公共図書館職員の苦悩」という記事があるが（2024年10月31日）、公共図書館での勤務は私の想像を絶するものであった。記事には、司書として働く図書館職員がソーシャルワーカーとしての役割を担わざるを得ず、疲弊して仕事を辞めていくという話が掲載されていた。私自身も勤務当初、コピー室で用を足した利用者がいたとか、利用者がコンピュータの席をめぐって取っ組み合いの喧嘩を始めるとか、館内で薬物を使用するなどの出来事に遭遇し、「私は精神病棟で働くソーシャルワーカーなのか」と自問することが多かった。精神疾患を持つ利用者やホームレスの利用者への対応に慣れるまでにかなり時間がかかった。サンフランシスコ市立図書館の様子は、PBSという日本のNHKのようなテレビ局が制作したFree for All: The Public Library というドキュメンタリーで一部紹介されて



日本酒と焼酎の
テイスティングイベント

いる。市立図書館で勤務を始めてからもうすぐ一年が経つが、ようやく勤務にも慣れ、自分が得意とする日本に関するイベントの計画と実行に精力を注いでいる。なによりも、還暦目前でも正職員として採用してくれる社会がありがたいと感じている。

●米国の現状・拘留の恐怖

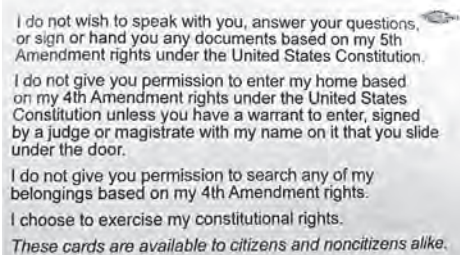
上述のとおり、私は永住権をもつ日本国民として米国内で生活をしている。これまでアメリカ出国・再入国を不安に思ったことはないが、現トランプ政権（2期目）の移民追放政策のもとでは恐ろしくて日本に帰省しようとは思えない。入国審査時に永住権取り消しや一時拘留が行われたというニュースでは、どのような理由をもとに拘留されるのかまったくわからない。ハーバード大学の留学生の査証取り消しが、西海岸のカリフォルニアでも大きく取り上げられている。

私自身、米国市民ではないのに米国憲法で守られているのか不明



サンフランシスコ市の「No Kings」デモの様子

であったが、どうやら米国市民以外もいくつかの憲法上の権利は認められているらしい。移民税関捜査局（ICE）が自宅に逮捕に現れた場合には「入国審査官がドアをノックしても、開けないように」などと書かれた名刺大の赤いカードが、図書館や移民支援団体で配布されている。表は英語で裏はそれぞれの言語（アラビア語、ベトナム語、スペイン語など）で書かれていて、それらは「Know Your Rights」カードとか「Red Card」



「Red Card」

と呼ばれる。永住権者とはいえ、いつ、何を理由に拘留もしくは強制送還させられるかわからないところがある。このような政治的な状況でも、サンフランシスコ市はまだロサンジェルスのような州兵などの派遣は行われていない

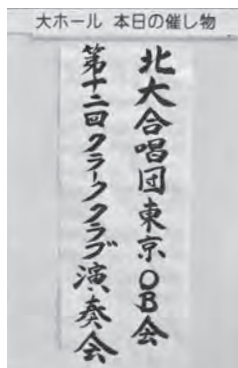
が、トランプ大統領の誕生日の6月14日に合わせ、ワシントンD Cでの軍事パレード反対・不法移民強制送還反対を掲げて「No Kings」デモがサンフランシスコでも行われた。デモの当日私は勤務だったが、デモ行進の最終到着地点が市役所前、勤務先の市立図書館本館の前だったので、お昼休みにデモに参加した。報道されているようなロスの光景とは異なり、平穏なデモであった。とはいえ、アメリカ市民によるミネソタ州議員の暗殺に加え、米国のイランへの爆撃が始まったため、アメリカ国内政治、また国際政治的にも不安な要素が多い。民主党が強いサンフランシスコに住むものとしても、安心はできないというのが正直なところである。



サンフランシスコ市立図書館
日本語資料司書
岩渕 祥子 (H5 法・院)



武甲山採掘跡



催し物案内

会、北大関西同窓会の総会などに招かれOB会メンバーが「都ぞ弥生」を歌っています。OBの中でも首都圏在住の、男声合唱の響きを忘れられない男達が集まって活動しているのが、「北大合唱団東京OB会クラーククラブ」です。平成7年（1995年）の第1回演奏会から始まり、今年の第13回演奏会に向けて、平均年齢70歳超のメンバー40人は、月2回（第2・第4土曜日）練習に励んでいます。

メンバーの会社での現在・過去の役職は関係なく、あるのは先輩・後輩の関係のみ。練習後の「蕎麦屋会談」（以前の練習場所の近くに蕎麦屋さんがあり、毎回集まっていたことから命名）で一杯は格別で、これを楽しみに参加するメンバーもたくさんいます。メンバーの中には、いろいろな趣味・特技を持たれる方が多く、いくつか紹介します。・当団の正指揮者である高嶋邦幸さん（S46）は、学生指揮のあと国立音大大学院音楽専攻を修了し、小澤征爾氏に師事されたプロの指揮者です。小澤征爾氏のお子様が所属された学校で音楽を指導されたことで、小澤征爾氏から「先生」と呼ばれた一人。・最高齢の越後明さん（S34・

農）は、PCを駆使して演奏会全容の記録を作成するなど、お年を感じさせません。



高嶋邦幸さん(S46)



星田裕二さん(H6 教養)

・高田繁樹（S37・工・鉱山）さんは、R4年度第9回日展の洋画部門で「武甲山採掘跡」が入選。・坪沼稔（S38・法）さんは朝日新聞の「声」に投稿され、2年連続で掲載されています。文才だけでなく、毛筆の腕前もかなりのもので、演奏会の案内を書いていただいています。・若原弘道（S39・経）さんが自費製作された、「小倉百人一首」本歌取り「世相百人一首」は、ウィットに富んだ政治風刺の効いた大作です。

◆◆◆

一昨年から数名のクラーククラブメンバーで北大東京ジンパに参加していますが、昨年のギネス記録挑戦の時には、取材にきていた北海道放送（HBC）のカメラに映り込み、夕方のニュースで私たちの様子が放映されて関係者の間で盛り上がりしました。

来年2026年3月28日には、東北大学男声OB、東京大学音楽部OBとのジョイントコンサート（府中の森劇場ドリームホール）も決定しているなど、活発に活動していますので、是非一度ご来場いただき、男声合唱の響きをお楽しみいただければと思います。

（松下国弘 S51・工／精密）

北大合唱団東京OB会 クラーククラブ第13回演奏会



第12回演奏会のステージの様子

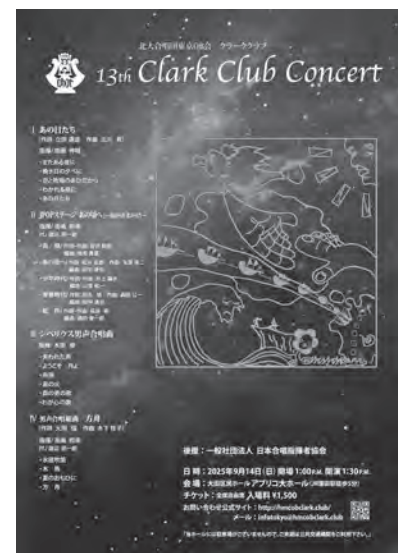
13th Clark Club Concert

【日時】2025年9月14日(日) 13:30開演
【場所】大田区民ホール アプリコ大ホール《JR蒲田駅徒歩5分》
【入場料】1,500円(全席自由席)
【演奏曲・来場者向け情報】
<http://hmcobclark.club/>
【問合せ先】infotokyo@hmcobclark.club



抽選で5組10名様に
入場券を差し上げます!

上記の問合せメールに、件名を【FRONTIER チケット希望】とし、氏名・郵便番号・住所・メールアドレス・希望枚数(2枚まで)を記載して8月30日までに応募ください。(当選者には返信メールでお知らせします)



富士山の麓から サーモンと歩む



Proximar株式会社 養殖場技術者

健太 (R5・水産)

陸上養殖場を作ろうとして
いるよ。」
初耳だった私は、その場
でGoogle検索してみた。
すると本当に、小山町で養
殖場の建設が進んでいるこ
とを知った。当時はまだ工
場が建設中で、魚もおらず、
採用も始まっていなかった
が、こんな面白いプロジェ
クトはないと感じ、ホーム
ページにあったメールアドレスへ
連絡したのがきっかけだった。

あれから3年。最初に入れた卵
たちはすでに出荷された。卵から
出荷まで2年弱。4〜5キログラ
ムまで成長するその姿は、何度見
ても感慨深い。

◆北海道からノルウェーへ

北海道大学では水産学部にも所
属していた。広大な北海道を肌で感
じたいという思いから、サイクリ



Proximar社の大型タンク

◆養殖技術者の始まり

富士山の麓、日本初のアトラン
ティックサーモン陸上養殖場がで
きたのはご存じだろうか。場所は
静岡県小山町。海のない土地で、
富士山の豊かな湧き水と最先端の
技術を活用し、アトランティック
サーモンを陸上で育てている。そ
の名は「Fiji Atlantic Salmon」。

提供いただいている。まだ出荷が
始まったばかりだが、大きな野望
を持ったノルウェーの会社であ
る。そして私は今、そこで養殖技
術者として働いている。
就職のきっかけは、ノルウェー
留学中に訪れた養殖場での出来事
だった。現場でサンプリングを手
伝っていると、スタッフからこう
声をかけられた。
「日本から来たの？ 今ちょうど
Proximarという会社が、日本で

最後のチャンスだと考え、ノル
ウェーのベルゲン大学へ留学する
ことを決めた。サーモン養殖とい
えばノルウェー。世界トップレベ
ルの技術や考え方に触れたいとい
う強い思いがあった。物価の高い
北欧への1年間の留学は簡単では
なかったが、日本学生支援機構や
北海道大学新渡戸カレッジの奨学
金のおかげで実現できた。この場
を借りて改めて感謝したい。

◆世界を先導する ノルウェーサーモン産業

アトランティックサーモンは、
もはやノルウェーを抜きに語れな
い。世界で生産

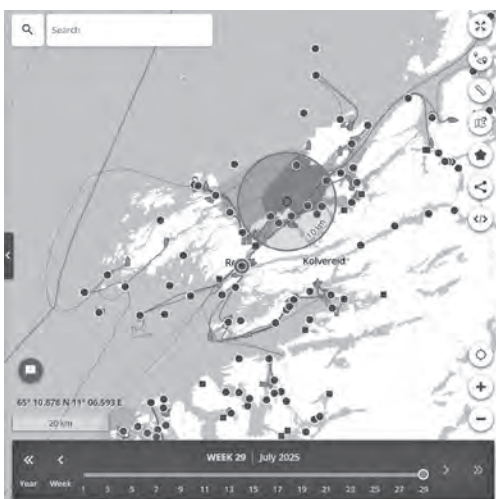
留学中はベルゲンのフィヨルド
やサーモン養殖場を訪れ、実際の
現場を目にする貴重な経験ができ
た。学びだけでなく、世界各国
の友人との交流も人生の財産と
なった。

Greg Seafood はどれもノル
ウェーの企業で、チリやカナダを
含む世界中で養殖を行っている。
チリ産のアトランティックサーモ
ンはよく日本でも見かけるが、
実はノルウェーの企業が生産し
ていることが多い。人口わずか
500万人ほどにもかかわらず、
圧倒的な生産力と影響力を誇る。
その背景には、ノルウェー流の洗
練された生産・管理体制がある。

ノルウェーの養殖場はとにかく
大規模で効率的である。海上には
直径20メートルの巨大ケージがい
くつも並び、それぞれのケージに
は10万〜20万匹ものサーモンが飼
育されている。これほどの規模で
ありながら、人が現場に足を運ぶ
のは週に数回である。



ノルウェーの仲間と記念撮影(前列右から2人目が本人)



ウェブサイト「BarentsWatch」

(<https://www.barentswatch.no/fiskehelse/>)

海面養殖場の位置や魚病警戒区域が示される

その理由は、給餌や水質管理と
いった日常業務の多くが、自動化
されているためである。水中には
ドローンやセンサーが常設されて
おり、これらの装置が魚の様子や
環境を24時間体制で監視する。給
餌はリモート操作、あるいは完全
自動化され、必要最小限の人手で
運営される。まるで未来小説の一
節のようだが、すでに現実のもの
となっている。

魚の健康管理も徹底している。
週ごとに現場スタッフが健康
チェックを行い、さらに月に一
度、魚類専門の獣医師が診断を実
施。その結果は「BarentsWatch」
というウェブサイト公開され
る。ここでは、ノルウェー国内す
べての養殖場について、魚病の発
生履歴、ライセンスの種類、収容
能力、輸送経路まで誰でも一目で
確認できる仕組みだ。

病原性の高い魚病が発生した場
合、その地域は赤や黄色で表示さ
れ、該当エリアの養殖場では正
勧告や出荷制限が課される。最悪
の場合、感染拡大防止のため魚を
すべて処分するケースもある。

この管理方法は「Traffic Light
System (トラフィックライトシ
ステム)」と呼ばれ、この仕組み
により、養殖事業者はリアルタイ
ムで周囲の状況を把握し、出荷計
画や輸送経路の変更など迅速かつ



Proximar社
ウェブサイト



Proximar社の
商品ラベル

<https://ja.proximarseafood.com/>



遠友夜学校、その生き続ける魂



映画「新渡戸の夢」より：新渡戸稲造記念公園（遠友夜学校跡地）

新渡戸稲造博士（1862～1933年）が生涯で唯一自ら設立した学校、それが遠友夜学校である。その設立の経緯については以下のように語られている。

新渡戸博士は明治15年（1882年）中、農商務省奉職時代に石狩の生振に農家指導の為に出張し、生活の安定していない農家を

を見て、その救済を養父太田時敏（1839～1915年）に手紙で語っている。また博士は農商務省御用係兼札幌農学校予科教授時代（1882年11月～1883年5月）から札幌市民大学構想を持っていた。その構想はアメリカ留学中により具体化していた※1。博士がジョンズ・ホプキンス大学に在学していた時代（1884年10月～1887年5月）、1期上の佐藤昌介博士（1856～1939年）と同宿していた頃であるが、同博士に次の3タイプの学生を収容する学校の構想を語っている。

①老人あるいは成人を対象とし、日本語をもって歴史・経済学・農学及び自然科学を講義する。

②専門学校や大学の入学準備を希望するが予備校に正規に出席できない青少年に対するもの。

③貧しい両親を持った、粗野な子供達や日雇労働者など、出面の子弟に対する夜学校で、これらには日本語の初歩と、何とかして英語少々、そ

を築くことは難しいという現実がある。

そんな中、空輪にかかるコストを、国内での陸上養殖施設への投資に振り向け、国産のアトランティックサーモンを育てるという挑戦をしたのが Proximar 株式会社である。海に依存せず、陸上で成魚まで育てるこの方法は、まだ世界的にも主流とは言えない。だが、近年では魚病リスクや海洋環境の変化を背景に、この新しい養殖手法が急速に注目を集め、世界各地で導入が進んでいる。

Proximar の陸上養殖施設では、RAS（閉鎖循環式陸上養殖）技術を導入し、99%以上の水を再利用しながら、限られた水量で効率的に多くのサーモンを育てている。環境負荷を抑えつつ、安定した供給体制を日本国内に築こうとする新しい挑戦である。



阪南大学 経済学部 准教授
池田 雄二
(H18・法)

して算数（求積法、測量術）を教える。もしこれらの学級に女子部を併設するならば、刺繍・裁縫・編物・英語及び国文学の勉強をできるようにする※2。

やがて②、③を実現する機会が訪れた。明治26年（1893年）、1000ドル（新渡戸博士本人の記憶では2000円）が新渡戸夫人万里子（メアリー・エルキントン）に届いた。この金銭は同夫人の実家、フィラデルフィア市のエルキントン家で、夫人が幼少の頃から親切に世話をされ、同家によつて救われ、家族同然に育てられた元孤児であった婦人が蓄えた金銭である。それがその婦人の遺言によつて送金された。その後、

※1：石井満『新渡戸稲造傳』（関谷書店、1934年）98、155-157頁。なお著者は新渡戸博士の第一高等学校校長時代の教え子。この他、高倉新一郎「序章—新渡戸稲造と札幌」札幌市教育委員会編『さっぽろ文庫18 遠友夜学校』（北海道新聞社、1981年）13-14頁。

※2：高倉・前掲・14頁。

※3：新渡戸稲造「學問より実行—新渡戸校長のお話—」札幌市教育委員会・前掲所収・274-275頁他高倉19-24頁、同「札幌遠友夜学校」札幌遠友夜学校創立百年記念事業会編『思い出の遠友夜学校』（北海道新聞社、1995年）14頁。

※4：石井・前掲・155頁も同趣旨。

新渡戸夫婦の動機は児童に対する最も純粹な形での愛情の現れであったといえる※4。この学校は以後、開校当初の理念を変えず、形態もほぼ変えずに約50年間存続し、閉校後も今日まで様々な形でその精神が生き続けている。

（第2回、第3回へ続く）

職場奮戦記

富士山の麓からサーモンと歩む



ノルウェー海面養殖場

適切な対応が可能となっている。こうした高度な管理体制こそが、ノルウェーが長期にわたり安定して生産量を増やし続けてきた大きな要因だ。

また、サーモンの輸送にも多様な船舶が活躍している。魚をサイズ別に選別できる機能を持つ船や、サケジラミ（サケに寄生する害虫）を除去する専用ブラシを備えた船、さらには血抜きや内臓処理まで現地で完結できる出荷用の船も存在する。取り扱う魚の量や目的に応じた最適な設備が整っているのだ。

日本はこれまで、すべてのアトランティックサーモンを海外からの空輸に頼ってきた。主な供給元はノルウェーやチリであり、新鮮な状態で日本に届けるためには、どうしても空輸が必要だったのである。しかし空輸には高いコストがかかり、さらに季節や魚病などによる生産量の変動も避けられない。ノルウェーでもチリでも、生産できる時期や量には限りがあり、完全に安定した供給体制

◆陸上養殖という新たな選択肢

を築くことは難しいという現実がある。

そんな中、空輪にかかるコストを、国内での陸上養殖施設への投資に振り向け、国産のアトランティックサーモンを育てるという挑戦をしたのが Proximar 株式会社である。海に依存せず、陸上で成魚まで育てるこの方法は、まだ世界的にも主流とは言えない。だが、近年では魚病リスクや海洋環境の変化を背景に、この新しい養殖手法が急速に注目を集め、世界各地で導入が進んでいる。



サーモン輸送船の作業風景



ケージに移されるサーモン

◆「荒野に輝く星のように」

「丸くなるな、星になれ」。これは某飲料メーカーの有名なキャッチフレーズだが、私はこの言葉がとても好きだ。北海道を切り開いた開拓使たちが掲げた北辰旗にも、大きな星が中央に描かれている。その星は、荒野で過酷な環境に立ち向かいながらも、いつしかこの地が良い場所になることを願う彼らの思いが込められているのだろう。

漁獲量の減少や国内消費の落ち込み、漁業従事者の高齢化といった課題を抱える日本。しかし、太平洋に囲まれた資源豊かなこの島国には、まだまだ大きな可能性があると私は信じている。星のように輝く大志を胸に、これからもさらなる高みを目指して歩み続けたい。



エルバジェから望むエルバジェ火山の外輪山セロ・ガイタール

持つているのかを理解してもらうことでした。そして、ランを乱獲するのではなく、栽培して増やす方法を一緒に考えました。

山の人たちにはランの栽培方法を教えながら、同時に、貴重な野生ランをこれ以上採取しないよう説得を試みました。しかし、彼らにはランを育てるためのポットなどの資材もなく、現実には採取以外に現金収入を得る手段がないため、説得は簡単ではありませんでした。地元のボランテアとも小学校を回り「君たちは世界で君たちしか持つていないランがある。これをむやみに取つてはいけません。」

これに反して、パナマ政府側も国有地を提供し、エルバジェにパナマの野生ランの保護と栽培を目的とした施設を建設することになりました。施設は、私が帰国するわずか数日前に無事落成しました。

しかし私は、「本当に彼らがこの施設をきちんと運営できるだろうか」と大きな不安を感じていました。その不安は現実となり、私が日本に戻って1か月もしないうちに、パナマの友人から「APROVACAの施設は門を閉ざしたままで、誰も使っていない」という知らせが届きました。

日本の海外援助は、施設などの“ハード”を作るだけで、支援はそこで終わってしまうことが多いのです。これでは、金持ちが貧乏人に物を与えて終わるだけで、真の

と講演して回りました。

私の活動に理解を示してくれたのが、駐パナマ日本全権大使でした。大使は、私の呼びかけでできた地元のボランテア団体 APROVACA (Asociación de Productores de Orquídeas de El Valle y Cabuya : エルバジェ・カブジャ蘭生産者協会) に対して、日本の草の根無償資金援助を供与してくれました。

◆APROVACA施設完成と
日本からの支援活動

支援にはなりません。エルバジェの人たちが本当に求めているのは施設ではありません。自然保護の教育や、ランの乱獲に代わる仕事を一緒に考え、苦勞を共にしてくれる日本人の友達だったのです。

そこで私は、2003年に日本で「パナマの野生ランを守る活動・COSPA (Conservación de Orquídeas Silvestres de Panamá)」を立ち上げました。

COSPA は、パナマの野生ランの保護活動、とくに APROVACA の支援と指導を行ってきました。また同時に、より多くの人にパナマの野生ランや絶滅の危機、そして保護活動の重要性を知ってもらうための啓発活動にも力を入れ、国際的な支援への参加を呼びかけています。

◆観光型ラン園への転換と
エコツーリズム活動

COSPA が最初に行った活動は、メンバーを APROVACA に派遣し、パナマの人たちと一緒に APROVACA の活動を考え、実行することでした。派遣したのは、三浦ふづきさん(2007年エルバジェで亡くなりました)でした。彼女のアイデアにより、APROVACA の施設は「野生ランの



APROVACAと仲間たち

私とパナマとラン

明智 洗一郎

(S36・農)

- ・北大山岳部・山の会
- ・COSPA代表
〔パナマの野生ランを守る活動〕
- ・ラン懇話会 副会長
- ・(一社)日本植物園協会 名誉会員



絶滅危惧種 パナマ国花「Peristeria elata」



私は1961年に北海道大学農学部を卒業し、その後、武田薬品工業株式会社で農薬の研究開発に携わりました。1998年に退職したあと、自分の知識や技術を活かして、開発途上国の支援ができないかと考え、国際協力事業団(JICA)を訪ねました。そこで、

パナマ共和国で絶滅の危機にあるランの保護活動を提案され、シニアボランテアとして現地に飛び込みました。

◆野生ランの植生と
現地の人々の暮らし

ランアメリカでは、大統領が変わると、役所のトップも一斉に入れ替わります。私をパナマに呼んだ役

人も、選挙で敗れた側だったため、私が到着した時にはすでに職を失っていました。そのため赴任直後は何をすればよいのか分からず、ひとり戸惑ってしまいました。

私が派遣されたアントンは、パナマ市から西へ約120キロメートル離れた田舎町でした。アントンから山道を約25キロメートル登った所に、有名な野生ランの自生地【エル・バジェ・デ・アントン(El Valle de Antón)】、以下エルバジェ



República de Panamá

パナマ共和国 ※ウィキペディア等より
面積:約75,416km²
(北海道の約9割の広さ)
人口:約431万人(2020年)
首都:パナマ市
言語:スペイン語(公用語)のほかに英語も広く使用されている。
経済:1人当たりのGDPは名目約2万ドル(2024—25年推定)で世界57位。

と略称】があります。

アントンでの最初の1年間は、近所のラン愛好家たちやパナマの環境庁の研究者と意見を交換したり、山に登って、現地の人々と一緒に「パナマにはどのようなランがあるのか」、「それらがどのように絶滅の危機に瀕しているのか」を学んだりすることに専念しました。

そこで分かったのは、パナマは地理的に見ると、南米大陸から北米大陸へランが分布を広げる「通り道」になっていることでした。そのため、パナマに生育するランは独自性が高く、非常に貴重な存在です。

また、ランが絶滅の危機に瀕している原因には、地球規模の気象変動、焼き畑農業や開発による熱帯雨林の消失といった、ボランテアでは簡単に解決できない問題があることも分かりました。他方、山岳地帯に住む人々には現金収入を得られる仕事がなく、身近な山に入り、野生ランを採って市場で売ることが重要な収入源になっていることも大きな要因でした。

◆野生ラン保護の啓蒙と
パナマ大使の協力

活動2年目に入ってから、山岳地帯の農民たちに野生ランの採取をやめさせることに焦点を絞りました。最初に取り組んだのは、彼ら自身がどれほど貴重なものを

東京基準より北海道基準、北の夢。

☆ ぷらう

代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 ぷらう

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL: 011-219-2223 FAX: 011-219-2885



日建設計総合研究所

株式会社 日建設計 北海道オフィス

上席理事 久保田 克己 (工・昭59・建)

札幌市中央区大通西8-2 住友商事・フカミヤ大通ビル

Tel. 011-241-9537 Fax. 011-261-7673

URL: <https://www.nikken.co.jp>

日建設計コンストラクション・マネジメント

— 絶滅危惧種のパナマのランを観光に —



APROVACAが運営するホステル

新たな収入源を与え、さらに意識改革も促すことができると考えました。

野生ランの保護活動には、莫大な労力と資金が必要です。そして、保護活動が地域の人々の活性化につながらなければ、長く続けることはできません。そのためには、熱帯雨林など保護すべき自然環境を含む地域に「エコツーリズム」を導入し、観光開発と自然保護を両立させることが方向性になるでしょう。まだ自然保護への意識が十分に広まっていなかったパナマにこの考え方を普及させ、野生ランの保護を実現するためには、

日本からの息の長い国際協力が欠かせないのです。JICAや多くの企業・団体から支援を受け、私たちは2003年から2011年まで、APROVACAにエコツーリズムの仕組みを導入してきました。パナマにこれらの考えを浸透させ、野生ランの保護を実現するには、私たち日本の、息の長い国際協力が欠かせません。

同時に地元のAPROVACAのメンバーたちの発想により、観光ラウンダーだけでなく、わが国の草の根資金援助で作った施設を利用してユースホステルの運営にも取り組むようになりました。

その結果、世界的な旅行サイトTripadvisorにおいて、APROVACAはエルバジェで訪れるべき観光地として常に上位にランクされるようになりました。また、JICAは引き続き、日本から海外青年協力隊を派遣し、APROVACAの運営や活動を継続的に支援してくれています。

◆ パナマ共和国の 最高位勲章の受章

このように、絶え間ない支援活動が続けてきた結果、私は2014年3月にパナマ共和国から「マヌエル・アマドル・ゲレーロ勲章グラン・マエストレ章」(Orden Manuel Amador Guerrero, Gran

Maestro)を授与されました。

このような大変名誉な賞をいただき、心から感謝しています。来日したパナマ共和国の外務大臣から直接、勲章を頂きました。「マヌエル・アマドル・ゲレーロ勲章」は、パナマ共和国で最高位の勲章であり、政治・文化・科学などの分野で顕著な功績をあげた人物に贈られます。なお、最も高位の「コジャール章(Collor)」は、エリザベス女王や明仁上皇など各国の元首に授与されています。また文化分野では、映画俳優のシヨーン・コネリー氏などもこの勲章を受章しています。

私が勲章を受章した理由には、長年続けてきたパナマの野生ラン保護活動の成果によるものです。しかし、これは決して私一人の努力ではありません。多くのパナマ人や日本人の協力と努力の賜物です。

COSPAとAPROVACAの活動により、エコツーリズムの理念を軸とした、パナマにおける野生ラン保全の基盤を築くことができました。しかし、自然環境の保全には、住民への教育、生物の生息環境の再構築、人間社会と野生生物の共存を目指すといった、さらに息の長い取り組みが必要です。



マヌエル・アマドル・ゲレーロ勲章授与式

今後は、野生ランの保護活動を、生物環境全体の保全へと広げていくことが求められます。そしてこの活動の中心を担うのは、パナマ国民自身でなければなりません。私たち日本人は、そのきっかけとなる「導火線」となれば良いのです。これからも現地の自然保護活動を支援しつつ、パナマ全体に生物環境保全の理念を広げていきたいと考えています。



エルム談話室

活動報告

エルム談話室は毎月第1金曜日午後2時からサピアタワー10階の北大東京オフィスで行っています。同窓会のメールマガジンでもお知らせしていますので、お気軽にお越しください。(参加費500円)

平田更一(S44理・植)

【第852回】

演題…旧五街道約2000kmをてくてく歩いて

日時…令和6年11月1日

講演者…北村昌文氏(S52工・土木)

略歴…前田建設工業(株)勤務、2015年5月〜2017年3月復興庁復興支援員として大熊町に駐在。

講演概要…

●私が考える趣味の選び方

●体・頭・心の健康に良いこと

●コストパフォーマンスの良さ

●逆タイムパフォーマンスが良いこと↓多くの時間が費やせる。

●旧五街道について

東海道(日本橋〜京都三条大橋513km)、中山道(日本橋〜草津宿511km)、日光街道(日本橋〜日光坊中147km)、奥州街道(宇都宮〜厩石(津軽半島)707km)、甲州街道(日本橋〜下諏訪209km)、総計2087km(距離はいずれも旧街道の距離、現ルートでは1996km)

●基本的な歩き方
街道上は必ず歩き、次回以降の接点として、原則は江戸から離れる方向。

●歩くことの魅力
①歩き目線で見えないもの↓車や電車では決して味わうことができない②見知らぬ土地での空気

↓普段観光しない場所に行き、その土地の食材や地酒を嗜む。居酒屋での地元の人との語らい③仲間との出会い↓同じように歩く仲間と会話が弾む。



北村昌文氏

●魅力的な場所など
【宿場町】東海道は関宿、二川宿。中山道は妻籠宿、奈良井宿。日光街道は幸手宿、古川宿、有壁宿。

下部マントル、外核、内核からなる。*プレートは、太平洋、ユーラシア、アフリカ、オーストラリア、北米、南米、インド、ナスカの各プレートは衝突している。プレートの衝突帯には大陸と海洋プレート、海洋と海洋、大陸と大陸の各衝突帯がある。

1970年第10次日本南極観測隊越冬観測、1991年より大阪市立大学教授、現在はゴンドアナ地質環境研究所会長、2021年より学生のヒマラヤ野外実習プロジェクト世話人会代表として実習ツアーチームの引率・指導を行っている。

講演概要…

●私とゴンドアナランド

中学2年の時、1933年に大陸漂移説を日本で最初に詳しく紹介した北田宏蔵著『大陸漂移説解説(古今書院)』で興味を持つ。

*ウエゲナーの大陸漂移動説は1912年に論文が発表され、書籍初版は1915年、1929年に第4版が出版された。

*アルフレッド・ウエゲナーは、1880年ベルリン生まれ、幼少期はベルリンで兄と共に山野に親しむ。1905年気球滞空競技会で兄と共に世界記録樹立、1909年ドイツマール大学講師、気象学・天文学が専門、1930年第4回グリーンランド探検で遭難死。



吉田 勝氏

*個体地球の構成と地球規模テクトニクス
個体地球は、表層から中心に向かって硬い地殻とマントル最上部からなるプレート、上部マントル、

中部マントル、外核、内核からなる。*プレートは、太平洋、ユーラシア、アフリカ、オーストラリア、北米、南米、インド、ナスカの各プレートは衝突している。プレートの衝突帯には大陸と海洋プレート、海洋と海洋、大陸と大陸の各衝突帯がある。

島弧大陸核の形成がなされる。*大陸プレート同士の衝突境界では造山運動が起こる。インドプレートがアジア大陸に衝突し、亜ヒマラヤ帯、低ヒマラヤ帯、高ヒマラヤ帯が形成され、最高峰エベレストが形成されたが、エベレストの頂上付近は、カンブリア紀〜オルドビス紀の海成層で構成されている。

*ゴンドアナランドとパンゲアが実在した証拠は、ウエゲナーの大陸漂移説のスケッチで証明されているし、アフリカ西部と南アメリカ東部の地質帯の連続性、古生物学的、トリアス紀の両生類や爬虫類の化石の分布、および古気象学的にも証明されている。

*ゴンドアナランドとパンゲアは集合と分裂を繰り返している。11億年前に東ゴンドアナとロデニアが誕生し、6億年前にゴンドアナランドが誕生した。Rastは、

奥州街道は台ヶ原宿。【二里塚】東海道は笠寺、沼津、野村。中山道は志村、東山、柏原。日光街道は蒲生、小金井。奥州街道は泉田、新塚、一本木。甲州街道は常久。【並木道】東海道の浜松松並木。中山道の関ヶ原松並木。日光街道の草加松原松並木。奥州街道の踏瀬松並木。甲州街道の府中と八王子のケヤキ並木。

【おもしろ宿】中山道の妻籠宿松代屋、細久手宿大黒屋(外国人入気で宿泊困難)、長久保宿濱田屋。【絶景】東海道のさつた峠からの富士山と駿河湾(一番のおすすめ)。中山道は軽井沢からの浅間山。日光街道の利根川。奥州街道は安達太良山。北上川。甲州街道は八ヶ岳、諏訪湖。

【そのほか】東海道島田宿大井川の渡しの人足寄せ場。箱根と金谷の石畳。奥州街道の芦野遊行柳(西行が詠んだ柳)。甲州街道の台ヶ原宿の造り酒屋と名菓子店。

【面白い地元料理名】中山道の山賊焼き。鳥を揚げる↓とり上げる↓山賊

*歩いてみたい方へ
【服装・持ち物】上着は重ね着↓状況に応じて脱いだり着たり、下

1977年に3億年前のパンゲア形成の予測図を描いている。1・7億年前〜現在〜未来にかけてパンゲア・ゴンドアナランドの分裂、5大陸分布、アジア大陸の成長、新超大陸の誕生が予測される。パンゲア・ゴンドアナ分裂の軌跡は、海洋底に、海洋底の年代は海嶺から離れるほど古くなっているという形で残されている。

*地球の46億年の歴史に対し超大陸のサイクルは30億年である。45〜46億年前に火の玉原始地球が誕生し、44億年以前にプレートが形成され、ブルームテクトニクスとプレートテクトニクスが確立、最古の大陸核が44億年前に形成された。



青木美希氏

30億年前に最初の巨大大陸が誕生し、超大陸サイクルが始まった。10億年前から現在にかけて、ロデニア、ゴンドアナランド、パンゲアが集合と分裂により5大陸が分布し、アジア大陸が成長している。2・5億年後には新超大陸が誕生しているかも？

*ヒマラヤ造山運動は地球史にとつて重要であり、学生のヒマラヤ野外学習プログラムと実習ツアーを実施し、学生にヒマラヤで学ぶ機会をクラウドファンディングにより行っている。

着↓速乾タイプ、ズボン↓撥水タイプ、ジーンズは厳禁、靴↓ハイキングシューズ(防水タイプ)、靴下↓五本指(指間のまめ防止)、手袋↓冬はあった方がよい、首回り↓冬のみネックウォーマー、荷物↓リックサック(両手のフリー確保)、雨具↓上下別とリックサックカバ、水筒↓夏は3つ(1つはザックの肩掛けに↓歩行中の水分補給)、飲料↓スポーツドリンクの他に必ず水、留め具はカラビナ、便利ベルト、ダブルクリップ、排泄グッズ、蛍光目印(夜間の安全確保)、薬類はバンドエイト、生理用品、軟膏、ワセリン(まめ対策)、ティッシュ。

【旅程の立て方】

一日の歩行距離は25〜30km、自宅近くは日帰りで。離れるほど交通費がかかるので宿泊を続ける。アクセスと宿泊事情を優先する。所要時間は時速4km+1時間(食事時間)で設定。季節と地域で日の出・日の入り時刻が異なるので注意。

【第853回】

演題…ヒマラヤ造山と超大陸サイクル30億年

日時…令和6年12月5日

講演者…吉田勝氏(S36理・地質学鉱物学科)

略歴…理学博士。1968年〜

【第854回】

演題…日本のエネルギーの行方

取材現場から

日時…令和7年1月10日

講演者…青木美希氏(H9法)

略歴…1997年北海タイムス入社にするも休刊に伴い1998年9月北海道新聞入社。北海道警察裏金問題を掛け、取材班で新聞協会賞、菊池寛賞など受賞。2010年から全国紙東京本社、社会部、特別報道部に勤務。「プロメテウスの罠」「手抜き除染」報道取材で新聞協会賞を連続受賞。

2020年よりフリーで取材活動を行い、現在に至る。はじめての単著『地図から消される街』(講談社現代新書)は貧困ジャーナリズム大賞、日本医学ジャーナリスト協会賞特別賞など受賞、石破茂氏の単独インタビューなどを行った近著『なぜ日本は原発を止められないのか?』(文春新書)は2024年8月、脱原発文学大賞を受賞した。

講演概要…

青木さんのお話は、福島現場を取材した時の動画の紹介に沿って行われた。パソコンの動画ファイルやYouTubeの動画シーンを掲載し、講演要旨としました。

文系合同同窓会のご案内 (法学部・経済学部・文学部・教育学部)

2年ぶりに文系4学部の東京地区合同同窓会を開催いたします。
たくさんの方のご参加をお待ちしております！
なお文系に限らず、それ以外の学部・大学院の方も大歓迎です。

文系長家の
懇親会

【日時】 2025年11月15日(土)
11:30より受付

【会場】 新宿ライオン会館6F
(パーティールーム)

【次第】 講演会12:00~12:30
懇親会12:30~14:30

【会費】 6,000円



〈お申込み・お問い合わせ〉
八谷(H2法) Toshio_Hachiya@jpower.co.jp



2023年11月の文系合同同窓会

【第855回】
演題…当世野球審判事情
日時…令和7年2月7日
講演者…山崎夏生(54文)
略歴…1979年日刊スポーツ東京本社入社、1981年同社を退社、1982年パシフィックリーグ野球連盟と審判員契約を締結。2011年NPB審判指導員に就任。

た北大のページを読んでビビッてきた。それから1日12時間の猛勉強で、退路を断って北大のみ受験して、めでたく合格。恵迪寮に。野球部に入部したが、正選手に選ばれず、野球で初めて挫折を味わう。球拾いをして、チームはファミリーだと思えるようになった。すべての選手に役割があり、一人



この10年間に発生した地震3以上の地震
日本は地震大国、列島全体の発生状況



人が住まなくなった住宅で我が物顔で生活するイノシシ(浪江町)



人が住めなくなって廃墟同然の民家(双葉町)



現在の福島第一原子力発電所(双葉町)



青木さんは、取材結果をYouTubeで無料公開しています

ひとりチームを支えていることを学んだ。3年のリーグ戦で初めて勝ち投手になり、野球でメシを食おうとトレーニングを強化。135kmを投げられるようになったが好事魔多し。ベースランニング中に右足首を骨折して、大学の最終試合では1イニングを投げただけだった。

＊日刊スポーツから審判員へ
就職先は野球に関係する職業を探し、日刊スポーツに入社できたが、野球関連の記事を書けると思いきや、販売局勤務を命ぜられ、悶々とした日々を過ごした。1981年の日本シリーズ、巨人対日本ハムの試合で、審判が試合を仕切っている姿がカッコよく見えて、審判になろうと思いつく。当時、プロ野球の審判になるには、①プロ野球選手から②アマチュア野球の審判から③公募、の3つの方法だったが、③は欠員がなければ募集はなかった。

どの方法でも自分は審判にはなれないと判断し、体当たり作戦を敢行。リーグ審判部長に電話して面会し、パ・リーグの審判にしてほしいと直訴したが、門前払いだった。その後も訴え続けて、ついに最後のテスト生としてオリックス(当時)



山崎夏生氏

時は(阪急)のキャンプに同行を許可され、念願の審判員になることができた。

＊審判指導員として
29年間、パ・リーグ審判員としてグラウンドに立ち、2010年9月15日に契約更新なしとなったが、審判体験を若い人に伝えてほしいと勧められ、NPB審判指導員に。2011年に両リーグの審判部が統合するタイミングだった。従来の縁故採用からNPB採用に改め、アンパイアスクールの開講、中年枠や女子枠の整備などの改革が行われた。

スクールには130〜170人が入学し、一次選考で60人程度になる。夜は18〜21時に座学が行われ、テストは、瞬時の判断を重視するため、短時間での回答が求められる。60人が4〜5人に絞られて、ゲームの審判が最終試験。その後、研修審判↓育成審判を経て本審判となる。

スポーツは「心・技・体」と言われるが、野球の審判は「体・技・心」。選手は攻めと守りで休憩があるが、審判は試合中は立ちっぱなし、体力が一番大事な職業である。

都合により第851回は次号に掲載します。

北海道名物

松 松尾ジンギスカン

ジンギスカン鍋をみんなで囲もう

下記4店舗タッチパネル、無煙ロースター完備

新宿三丁目店(74席) 東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド 会館5F TEL 03-3226-2989	赤坂店(121席) 東京都港区赤坂4-3-6 ヒューリック 赤坂一ツ木通ビルB1 TEL 03-3585-2989	銀座店(67席) 東京都中央区銀座5-9-5 チアーズ 銀座2F TEL 03-3572-2989	秋葉原店(70席) 東京都千代田区外神田1-18-19 BITO AKIBA 5F TEL 03-3255-2989
---	---	---	--

ジンギスカン消費量 国内大学No.1
「北大」ご出身の皆様、懐かしの「松尾ジンギスカン」が東京でも楽しめます!!

ご利用可能店舗

新宿三丁目店

銀座店

赤坂店

秋葉原店

渋谷バルコ店

北海道大学様 限定クーポン
ご飲食代から
10% off
※「北海道大学東京同窓会会員」様限定クーポンです。
※本券は左記5店舗でのみご利用可能です。 ※他券・割引券併用不可

回収印

渋谷バルコ店(54席)

一人ジンギスカンや羊肉ハンバーグなどをご提供

東京都渋谷区宇田川町15-1
渋谷バルコ7F TEL 03-3461-2985

令和7年5月18日（日）、立川市にあるホテルエミシア東京立川にて工学部同窓会総会・講演会を開催した。工学部同窓会の総会・講演会は、通常、札幌で開催しているが、昭和55年に初めて東京で開催された後、昭和58年、続いて平成7年に開催され、以降、恒例により5年に1回、東京支部委員の協力のもと都内で実施している。5年前の令和2年は、新型コロナウイルス



工学部同窓会 第77回総会・講演会・懇親会

ウイルス感染拡大を受けてメールによる審議となったため、対面による東京開催は10年振りとなった。総会は、10時30分の定刻に、遠藤俊徳副理事長の開会の辞で始まった。幅崎浩樹会長、宮永喜一理事長（電子・昭和54）の挨拶の後、会則に従い宮永理事長が議長を務め、2024年度の事業報告及び収支決算、2025年の事業計画及び収支予算、2025—2026年度同窓会役員の選出、同窓会会則会費細則の一部改正が承認され、その他として同窓生訪問情報、の在学生への配信試行について説明があった。総会には約40名が出席し、工学部同窓会の財政状況等に関する質問や意見交換も行われ、最後に遠藤副理事長の閉会の辞で無事閉会となった。

総会終了後は、「北海道大学工学部これからの100年」と題して幅崎浩樹工学部研究院長・工学部長による講演会が行われ、「工学部創立100周年記念事業」「博士人材と理工系女性人材」「北海道における先端半導体とGX」について



工学部同窓会 事務局長
斎藤 之史

「100周年記念事業」では、工学部の沿革（1924年に土木工学科、鉱山工学科、機械工学科、電気工学科の4学科設置）と、令和6年9月27日（金）に京王プラザホテル札幌において開催された記念式典・記念講演会及び祝賀会の様子、記念事業である工学部フロンティア応用科学研究棟1階に開設したSDGsオアシス、ヴァーチャル工学部、学生支援事業について紹介された。

第22回

北大寮歌祭で、 声高らかに感激を謳わん!!

日時：2025年11月2日（日）

受付開始 11:30（予定）／開催 12:30～16:00（予定）

会場：砂町文化センター3F（江東区北砂5-1-7）

アクセス▶東西線東陽町駅（1番出口）近くにある都バス「都07系統」錦糸町行きバス停留所から乗車（約10分）「北砂二丁目」にて下車、徒歩8分くらい（砂町銀座商店街を歩いて）

今年は
会場が変わり
ました！

年に一度、心にしみる数々の寮歌、厳しい練習に力を込めて謳った部歌を、半日、元気よく飲み、食べながら謳える幸せなひと時「北大寮歌祭」を今年は11月2日（日）に開催します。

会場は、これまで慣れ親しんだ大田区産業プラザが建替えのため、今年は江東区北砂にある『砂町文化センター』に変わります。どうぞご注意ください。

実行委員が手作りで催す寮歌祭は、今年で22回目を迎え、参加者は200名規模にまで増えてきています。飲み物、食べ物の持込みは大歓迎。参加者のご家族は従来通り無料です。仲間を誘ってご参加ください。

明治～大正～昭和～平成～令和の5つの時代の歴史の中で、若い感性を表現し、創り続け、歌い繋いでゆく寮歌は、北大だけが有する唯一無二の文化です。謳い方は時代が変わってゆくがありますが、これも寮歌が生きている証であり、大きな心で楽しんで頂けると



思います。北砂に集まり、若き日の感激を謳った、あの日の友達や自分と一緒に声高らかに謳いましょう!! 今年も、北大応援団・応援吹奏団の現役の皆さんが参加して、盛り上げて頂けます。きっと明日を生きる鋭気を高める機会になると思います。たくさんの皆さんと肩を組んで謳えることを楽しみにしています!



参加費は、事前申込5,000円、当日参加6,000円です。

※ご家族の同伴無料! お子様連れ大歓迎!

詳しい参加方法はホームページでご確認ください→



申し込みはホームページからお願いします。
<http://www3.ryoukasai.org/>

第22回北大寮歌祭 実行委員長 岩崎哲也（S59工・機械）

今年のテーマは「彩雲」

北海道大学祭全学実行委員会

広報担当 浅野航希・齊藤壮真

去る6月6日（金）から8日（日）に、北海道大学札幌キャンパスにて、第67回北大祭が開催され大盛況のうちに終了しました。北海道大学周辺の方のみならず、広く札幌市内や道内外各地より、多くの方々に来場していただき、来場者数は昨年を優に超える約14万人にのびりました。今年のテーマは「彩雲」でした。彩雲は、雲が多様な色で美しく彩られた様を表しています。彩雲は吉兆ともいわれ、「幸せを呼ぶ雲」として知られています。北大祭では近年、ラテン語を由来とするテーマが掲げられてきましたが、古来より日本で親しまれている「彩雲」はその流れに新しい彩りをもたらしました。またこのテーマには北大祭の多彩さを象徴するものとなってほしいという願いが込められています。

◎ 活気あふれる第67回北大祭

北大祭は、北海道大学札幌キャンパスにて行われる国内最大級の大学祭です。10の祭から構成され、有志団体や1年生団体の模擬店・屋内展示を行う檜陵祭や、各学部の専門性を活かした学部祭、International Food Festival（I F F）があります。大学構内の1・2キロにわたるメインストリートには200を超える模擬店が並び、コロナ禍以降最大の盛り上がりとなりました。

りとなりました。また、その他に特設ステージでのサークルや有志による発表や、普段見ることのできない大学施設の公開や本学の教授による公開講義など、さまざまな企画が行われました。

◎ 道内各地から出店

まるっと北海道フェスタ

今年から始まった新企画に、「まるっと北海道フェスタ」があります。北大祭をより「北海道らしい」祭にするべく、また北大祭の理念の一つである「地域貢献」を果たすため、道内各地より6つの団体にお越しいただき、地元の特産品などを提供していただきました。昨年に続き出店された湧別高校のほか、今年は上川高校・学生団体HALOC（津別町）・苫前町・

中富良野町・むかわ町観光協会が出店されました。特に、学生団体HALOCの「クマヤキ」やむかわ町観光協会の「カンロアイス」、中富良野町の「ジンギスカン」はテレビの生中継やVTRでも取り上げられ、皆様から好評をいただきました。

◎ 各国の郷土料理が集結I F F

I F F (International Food Festival) は今年も人気を博していました。ベトナムやフィリピンなど、18の国から出店がされ、中国の「中華小籠包」やウズベキスタンの「ソムサ」はテレビの取材にも取り上げていただきました。普段味わうことのできない料理を楽しむエリアとなっており、北海道大学の学生のみならず、学外のみなさまにも大きな関心を持っていただき、大変な盛況でした。

◎ 様々な分野のプロフェッショナルによる講演（ゲスト招待企画）

北大祭には、模擬店だけでなく、様々な魅力的な企画があります。その一つが、学外から様々な分野のゲストを招待し、講演や対談をしていただく、「ゲスト招待企画」です。今年も昨年に引き続き

◎ 「北大」らしい企画

き「水曜どうでしょう」のチーフディレクターであり、北大公共政策大学院メディアフェローを務めていらっしゃる藤村忠寿さんにお越しいただき、テレビ番組「ゴッドタン」や「あちこちオードリー」のプロデューサーである佐久間宣行さんとの対談を行っていただきました。

また『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』で新書大賞2025を受賞した三宅香帆さんには、「コスパの時代に余裕や無駄を再検討する」というテーマで講演をしていただきました。また、批評家の宇野常寛さんにもお越しいただき、「陰謀論、フェイクニュースとの向き合い方」というテーマのもと、講演をしていただきました。情報に満ち溢れている現代社会で忙しく生きている私たちにとって、多くの学びのある講演でした。どちらの講演も、北大祭事務局公式YouTubeにて配信アークライブを公開しておりますので、ぜひご覧ください。

大学祭らしく、本学教員による一般の方への「公開講義」にもたくさんの方にご来場いただきました。「公開講義」は、北海道大学の教員が来場者の方へ最新の学問や研究の成果について講義する企画です。「アイヌ民族の歴史」先住民研究から多様性を考える「や「札幌でも地震が起こる!?地震火山研究の最前線」といった、北海道大学らしく、また地域に根差した研究や発表がなされ、来場者の方に学問の奥深さを知っていただきました。また、クラーク会館で行われた「北大レクチャー」も北海道大学の魅力を来場者の方へ伝えることができました。「北大レクチャー」とは、北海道大学・大学の学生が発表者として、自身の学問や研究の成果をプレゼンテーションし、大学と市民の交流を図る企画です。北大祭に訪れていた市民の方へ普段の北海道大学の様子をお届けし、大学をより身近に感じていただきました。

そして最後に、北大祭を締めくくったのが「一万人の都ぞ弥生」です。応援団による校歌や演舞、そして最後の「都ぞ弥生」の合唱は、高等教育推進機構前に駆け付けた多くの方とともに北大祭の最後を飾りました。

◆◆◆
最後になりますが、今年も皆様のご協力とご尽力により、第67回北大祭を無事開催することができました。また、来年北海道大学は創基150周年を迎えます。創基150周年という大きな節目にあたり、北大祭は歴史ある北海道大学の伝統を受け継いでまいります。そして北大祭の理念である「学生主体」「地域貢献」「交流の場」を重んじ、さらなる北大祭の発展を目指してまいります。本誌をご覧になっている卒業生の方々も北大祭へぜひお越しください。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

北大祭では、安心・安全かつご来場のみなさまに楽しんでいただける運営を行うため、卒業生の皆様からの賛助を募集しております。一口2500円から受け付けており、二口以上で北大祭パンフレットにお名前を掲載いたします。募集時期などの詳細をご希望の方はメールにてお問い合わせください。皆様のご協賛をお願い申し上げます。

末筆にはなりますが、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、ますますの北海道大学の発展を心より祈念し、寄稿の文章といたします。

メール：pr@hokudaisai.com



公開講義



まるっと北海道フェスタ:むかわ町模擬店



まるっと北海道フェスタ:中富良野町模擬店



大ポスター



International Food Festival



「都ぞ弥生」大合唱



今年のテーマ「彩雲」



北海道大学でのイチゴ研究 ～私なりの“農業、の継承”～



理学部裏にある園場での栽培

私は北海道中央部 中富良野町の零細農家の長男として生を受けました。曾祖父は原野を拓き、祖父は水稲を作り、父はイチゴ栽培を始め、私も4代目として農家になるつもりでした。しかしながら、気候変動や国際情勢の変化の中で農業経営を続けることの苦労や困難を知る父は、私が農家を

継ぐことに大反対しました。私が高校生のころだったと記憶しています。それでも農業をあきらめきれない私は、まずは農業のことをちゃんと学びたい、そして農業を学ぶならやっぱり「札幌農学校」からの歴史をもつ北海道大学だと思い、北海道大学を目指しました。

2017年に北海道大学に入学し、2021年に農学部生物資源科学科を卒業、2023年に大学院農学院農学専攻・修士課程を修了し、現在は同専攻博士課程3年として在籍中です。学士課程から鈴木卓先生主宰の園芸学研究室に所属し、父母がイチゴを栽培していることから私もイチゴの研究に取り組んでいます。

◎北海道でのイチゴ栽培

イチゴの旬はいつでしょうか？イチゴの生産地として思い浮かべるのはどこでしょうか？北海道でイチゴが栽培されているイメージ



藤木 卓巳
(農学院・博士課程3年)

を皆さんはあまりお持ちではないかもしれません。

イチゴはおよそ18～25度の冷涼な環境を好み、ケーキのデコレーションとしてクリスマスシーズンに高い需要があります。そのため、日本で主流の栽培体系では、12月から5月にかけて、栃木、福岡、熊本などの地方で収穫が行われます。これらの地方では夏から秋にかけての高温によってイチゴ生産が非常に困難になるため、6月から11月がイチゴの端境期となります。しかし、この端境期にも誕生日ケーキなどの需要があるため、夏秋季は比較的涼しい北海道や東北地方でイチゴ栽培が行われています。

しかしながら、近年は北海道といえども夏は30度を超えるようになり、冷涼な気候を好むイチゴは

どれだけ存在しているかということとを直接目で視ることはできません。そんな中、指導教官の鈴木卓先生の勧めがきっかけとなり、MALDI-TOF MSIという最先端の質量分析イメージング技術に出会いました。この技術は視えない物質を視ることが出来るという素晴らしい技術で、まさにこれだ！と電撃を受けてすぐに取り組むことにしました。意気揚々と取り組み始めたのはいいものの、なかなかうまくいかず、たくさんの方の失敗と停滞の日々が続きました。



実家の農園(父母)

2つ例を挙げると、まずイチゴを栽培することに苦労しました。私のイチゴ研究は、理学部の裏手にある農場のビニルハウスで、イチゴの栽培試験をすることから始まりました。実家にいたときは父母の農業の手伝いをやっていて、作物を作るのは得意なつもりでした。しかし、実際に一から十まで独りでイチゴを作ってみると、株全体が急に萎れたり害虫が大発生したりとトラブルばかりで、栽培1年目はろくな果実が穫れませんでした。ただし、ことあるごとに父に電話して大いに助けてもらったおかげで、栽培2年目以降は北海道の平均収量を上回る程度に果実を収穫できるようになりました。

果実がうまくできた次は、果実切片の作成に苦労しました。質量

分析イメージングを実施するためには、果実を0.1mm(髪の毛の太さと同じくらい)の厚さにスライスし、スライドグラスに載せる必要があります。イチゴは柔らかいので、薄切するのが非常に難しく、すぐ破れたり、ぐしゃぐしゃになったりします。幸いなことに、私は画用紙をカッターナイフで切り抜いて作る切り絵を趣味としていて、手先の器用さには少々自信があります。持ち前の器用さと幾度の練習を経て今ではきれいな切片を作れるようになりました。

このように質量分析イメージング技術をなんとか修得して、6品種のイチゴについて糖および有機酸の果実内分布を調査しました。その結果、6品種に共通して甘味成分のヘキソースは果実の内側に多く、酸味成分のクエン酸は果実の外



切り絵作品



中国での受賞

◎農学者としての農業の継承

側、特にヘタ側に多いことが分かりました。先端側のほうが甘く感じるのは、甘味を打ち消してしまう酸味成分が先端側に少ないからだと考えられます。また、リンゴ酸やスクロースの果実内分布は品種ごとに異なっており、このことが品種による風味の違いの一因になっていると推測されます。今後この技術が品種改良や栽培管理方法の改善に応用されることを期待しています。この研究成果はプレスリリースにて発表しましたので、ご興味ある方はぜひご覧ください。

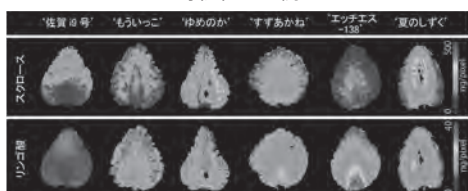
このような物質の果実内分布を視るという研究は、大変ありがたいうちに国内外から高い注目と評価を頂いており、2024年11月に沖縄県で開催された国内大会にて「若手優秀発表賞」を、2025年3月に中国江蘇省塩

◎イチゴのおいしさを「視る」

これまでイチゴのおいしさは糖と有機酸の「含量」と「バランス」が重要であるとされてきました。その一方で、巷には「イチゴは先端側の方が甘い」とか「ヘタ側から食べたほうがおいしい」といった噂があります。このことは糖や有機酸の単純な含量やバランスだけではなく果実内分布の不均一性が食味に影響することを示唆します。実際に糖や有機酸の「果実内分布」が食味に影響を与えることが科学的に報告されています。私はこの果実内分布に着目し、北海道でおいしいイチゴを作るためのヒントを探ろうとしました。

しかしながら、糖や有機酸の果実内分布を知るのは非常に難しいことでした。糖も有機酸も無色透明な物質なので、果実のどこに

可視化の一例



「可視化して比較」について
北大ホームページでのプレスリリース記事▶



都市で開催された国際会議にて「ISHS Young Minds Awards」を受賞しました。国際的にも高い水準で研究できるのは世界をリードする北海道大学の恵まれた研究環境があること、そして、曾祖父から父までの3代に渡って継承された農業の実践が私の研究を支えたからであると思っています。私は、農家の4代目としてではなく、農学者として農業を継承したいと強く願っています。北海道大学を卒業した後は、最先端の学問と現場レベルの実践を両輪として、日本農業の持続と発展に貢献できるように自己研鑽を続けたいと思います。

▶藤木卓巳のホームページ



北海道大学の近況

(2024年 冬~2025年 春)

北海道大学社会共創部広報課

imecと半導体分野における合意書を締結

11月7日(木)、ナノエレクトロニクスとデジタル技術における世界有数の研究イノベーション拠点であるimec(ベルギー、ルーヴレン)と、半導体分野における連携を検討していくための合意文書に署名しました。両機関の強みを生かし、イノベーションを促進することで、日本の半導体エコシステムの発展に貢献することを目的としています。

合意書では、2 nm半導体のユースケース開発に重点を置きつつ、半導体分野の進展に向けて、地域の研究開発企業とも連携し、日本の半導体エコシステムの発展に貢献するための連携の機会を模索することを目的としています。

今回の合意書締結により、両機関の共同による研究開発や人材育成の機会が促進されることが見込まれます。imecと北海道大学の連携は、両機関に高い付加価値をもたらし、日本の半導体エコシステムの発展に貢献することが期待されます。

【i n e c ルク・ファンデンホー
President & CEO コメント】
北海道大学との連携の可能性に
大きな期待を寄せています。i m
e c が持つ半導体の高度な専門知



サステナブルキャンパス賞表彰状を掲げる(左から)小澤丈夫総長補佐、横田篤理事・副学長、朴恵淑CAS-Net JAPAN代表理事

指す姿勢は、まさにサステイナブル・キャンペーン整備の目指すべきものであり、国内外の歴史的建造物の持続可能な保全モデルとなり得るもので、賞に相応しい取組であるとの講評がありました。

「自然共生サイト認定・OECM登録」は、30by30（※3）目標・ネイチャーポジティブへの貢献を見据えた全学的な取組として、2022年の「生物多様性のための30by30アライアンス」への参加を皮切りに、保有するキャンパス（附属施設含む）の自然共生サイト認定・OECM登録に向けた取組で、これまで雨龍研究林・札幌キャンパスの2箇所が自然共生サイトの認定を受け、OECMに登録されています。審査員からは、国立大学としては初めての「生物多様性のための30by30アライアンス」への参加や、自然共生サイト認定、OECM国際データベースへの登録など、先導的で模範的な取組は高く

識、応用研究、最先端の基盤施設と北海道大学の強固な研究基盤を活用することで、日本の半導体エコシステムの発展に貢献し、業界全体に利益をもたらすイノベーションを推進することができると考えています。



合意書締結の様子
左からimecのルクCEO、寶金総長

【資金清博総長コメント】
i m e cとの連携が実現すれば、本学における半導体教育研究

を飛躍的に高度化
させるまたとない
機会となります。
日本の国立大学で
最多の学部を有
し、人文・社会・
自然科学のほぼ
すべての領域をカ
バーしているとい
う本学の特徴は、
先端半導体の利用
に関する多様な関
域を有しているという点
体分野の発展に貢献する
さると考えています。

（経営企画本部企画課）

北海道ワイン教育研究センター棟改修及び自然共生サイト認定・OECM登録に関する取組が「サステイナブルキャンパス賞2024」を受賞

北海道ワイン教育研究センター棟改修及び自然共生サイト（＊１）認定・OECM（＊２）登録に関する取組が、一般社団法人サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS・Net JAPAN）が主催する「サステイナブルキャンパス賞2024」を受賞し、11月16日（土）に京都大学で開催された同協議会2024年次大会にて表彰式が行われ、表彰状と楯が授与されました。

は、サステイナブルキャンパス構築に係る優れた取組事例を顕彰するもので、第10回となる今回は、建築・設備部門、大学運営・地域連携部門、学生活動部門、民間事業者部門の四つの部門に該当する具体事例が募集されました。本学からは「北海道ワイン教育研究センター棟並びにワイン庫 旧札幌農学校昆虫学及養蚕学教室並びに旧昆虫学標本室の耐震改修及び保存改修（以下、北海道ワイン教育研究センター棟改修）」が建築・設備部門



奨励賞受賞の様子。左から北岡真吾
サステナビリティ推進機構特任教授、愛甲哲也総長補佐、横田理事・副
学長、朴代表理事

評価できるとの講評がありました。
なお、サステイナブルキャンパス賞の受賞は、2015年、2019年に引き続き、3回目となります。
当機構では、これからもサステ

イナブルキャンパスの構築に向けて、取り組んでまいります。

(※1) 自然共生サイト：民間の取組によって生物多様性の保全が図られている区域を国（環境大臣）が認定した区域。

(※2) OECM…Other Effective area-based Conservation Measuresの略。国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する地域。

(※3) 30by30…2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際的な目標。

(サステイナビリティ推進機構)

11月23日（土）祝に、巖鷲寮（佐藤・新渡戸記念寮）の創立記念式典（寮祭）が開催され、横田篤理理事・副学長が「北海道大学のSDGsの歴史と現在地」と題して講演を行いました。

巖鷺寮は、昭和2年に創立された学生寮です。北海道帝国大学に新設された医学部の第1期生になるべく予科に入学した4人の学生が、当時の佐藤昌介総長に熱心に働きかけ、今のクラーク会館付近のキャンパス内に建設されました。現在も北海道大学生生活協同組合本部前には本寮設立の地として

「巖鷺寮（佐藤・新渡戸記念寮）」の創立記念式典（寮祭）で、横田篤理事・副学長が講演

て、記念プレートが掲示されています。平成11年に開寮した現在の4代目「巖鷲寮」は、札幌農学校校長、東北帝国大学農科大学学長、北海道帝国大学初代総長を歴任された佐藤昌介先生と、佐藤先生の盟友であり、本寮を訪問したこともある新渡戸稲造博士から名前をとって「佐藤・新渡戸記念寮」と称されています。創立当初、本寮は、旧南部藩にゆかりのある男子学生（岩手、青森県出身者）のために設立・運営されてきましたが、現在では、全国から男子学生のみならず女子学生も入寮しています。

本式典で、横田理事・副学長は、佐藤先生のご尽力により、北海道大学は世界最大の研究林（国土の0.2%）、広大な農場を保有するに至ったこと、こうしたフィールド資産を活用して、SDGs課題解決の中核をなすフィールドサイエンスに強みを持つ大学として発展してきたこと、T H E インパクトランキングで5年連続国内1位の評価を得ていること、令和5年には「H U V I S I O N 2030」を、同6年には「北海道大学サステイナビリティ宣言」を策定したことなどを説明するとともに、様々



寮生・関係者との集合写真



講演を行う横田理事・副学長



横田理事・副学長と寮生との懇談の様子

な専門分野において、本学で学ぶこと自体の価値や素晴らしさを学生の頃から理解してもらいたいことを伝えました。また、令和8年に創基150周年を迎えるにあたり、「光は、北から」を合言葉に、世界の課題解決に貢献する大学を目指していることも説明しました。本式典ではこのほかに、寮生と横田理事・副学長との懇談、寮所蔵品の説明、寮内見学ツアーの時間が設けられ、その後現役の寮生、佐藤・新渡戸記念寮役員との懇親食事会の時間も設けられました。（サステイナビリティ推進機構）

サイエンスフェスタ2024を開催

12月14日（土）、15日（日）の2日間、札幌駅前通地下広場にて「サイエンスフェスタ2024」を開催しました。

令和4年から開始した本イベントは、本学の学生の活動や研究成果が社会に還元される姿を一般市

民の方々に知っていただくとともに、次世代を担う小学生、中学生及び高校生に、サイエンス（科学技術）に興味を持ってもらい、サイエンスを通じて、新たな学びや気付きを生む機会を提供することを目的とするものです。今年、「共創」をテーマとして、

く社会に公表・報告していく予定としています。



（＊1）GHGプロトコル…米国の環境NGOである「世界資源研究所（World Resources Institute, WRI）」及び「持続可能な発展のための世界経済人会議（World Business Council for Sustainable Development, WBCSD）」を中心に世界中の事業者、行政組織、NGO、学術組織など様々な利害関係者が参加し、その合意に基づいてGHGの算定・報告基準を開発す

北海道大学GHGインベントリ2022

るためのプロセス。

（＊2）Scope 1・2・3：GHGプロトコルにおける、GHG排出量の分類。定義はそれぞれ以下のとおり。

- ・Scope 1（直接排出量） 事業者自らのGHGの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
- ・Scope 2（エネルギー起源間接排出量）他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出。
- ・Scope 3（その他の間接排出量） Scope 1、Scope 2以外の間接排出（事業活動に関連する他者の排出）

（サステイナビリティ推進機構）

日経ESGに総長インタビュー記事を掲載

資金清博総長が「日経ESG経営フォーラム」からインタビューを受け、日経ESG令和7年1月号及び日経ESGのホームページにインタビュー記事が掲載されました。

「日経ESG経営フォーラム」は、日本のESG（環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）をリードし、国内外への情報発信・情報収集などを行う組織で、企業や自治体など271の組織が会員として参加しており、大学としては本学が唯一の参加となります（令和7年1月1日現在）。

本インタビュー記事はこちら▼



本インタビュー記事は、令和6年度から本学が「日経ESG経営フォーラム」の一般会員となったことを受け、酒井耕一「日経BIP総合研究所ESGフェロー」が聞き手となり、10月25日（金）に事務局にて行われました。資金総長からは、令和5年7月に公表した「H U V I S I O N 2030」、同6年8月に策定した「北海道大学サステイナビリティ宣言」及び同年11月に発行した「北大Ambitious 債」（インタビュー時



ポスター発表ブース



onちゃんテラス会場

各種企画を実施しました。14日（土）には北海道テレビ放送株式会社の協力により、onちゃんテラス1Fを会場として、気象予報士の清水秀一氏と大学院生3名による、天気と自身の研究内容を絡めたトークセッションが開催され

「北海道大学GHGインベントリ2022」を策定

本学は10月に、本学の温室効果ガス（Greenhouse Gas 以下、GHG）に関する排出量等のデータを体系的にとりまとめた「北海道大学GHGインベントリ2022」を策定しました。

「北海道大学GHGインベントリ2022」は、カーボンニュートラルの実現を見据え、本学のGHGに関する実情を適正に把握するために、GHG排出量等のデータを体系的にまとめたものです。策定に当たっては、GHG排出量の算定・報告に関する国際基準となっているGHGプロトコル

ました。また、初参加となる北海道大学病院は札幌市保健福祉局ウェルネス推進部ウェルネス推進課と共にさっぽろウェルネスフェアを行うなど、自治体、企業、高校らと連携することで、例年以上の盛り上がりを見せました。

博士後期課程学生による研究成果のポスター発表については、今回ご来場いただいた方々からの投票に加え、今後、学内外の審査員によって、各賞の受賞者を決定し表彰式を行う予定です。（学務部学務企画課大学院教育改革推進室）

（＊1）等を参照の上、国際協定や国の政策で規定される7種類のGHG（CO₂、CH₄、N₂O、HFCs、PFCs、SF₆、NF₃）を算定対象に、Scope 1・2・3（＊2）の分類に基づき、本学の全ての拠点におけるGHG排出量を算定しています。

今後は、本イベントりを基礎データとして活用しながら、カーボンニュートラルに関する目標や計画等を順次策定する予定です。また、GHG排出量等の状況を経年で確認し、気候変動対策の効果を評価・検証するため、今後もイベントりを定期的に作成し、広



掲載記事（日経ESGウェブサイトより）

米国マサチューセッツ大学アムースト校とシードファンドを開設

北海道大学は、戦略的国际パートナー校である米国マサチューセッツ大学アムースト校（UMass Amherst。以下、UMA）と共同研究分野の裾野を広げることを目指し、共同出資で研究者のモビリティを支援する「HU-UMA Joint Research Seed Fund（HU-UMA 共同研究シードファンド）」を開設しました。初年度となる令和7年度の申請には、「先端材料」「応用生命科学」「再生農業」「持続可能性」「人文学と社会」のいずれかのテーマに係る共同研究へ繋がる申請を募集し、本学から9件、UMAから

なっています。

※インタビュー記事は、日経ESGのウェブサイトにも掲載されています。

（サステイナビリティ推進機構）

8件、計17件の申請がありました。17件のうち、「機械的環境における集団的細胞移動制御」「高分子の持続可能な合成」「超高速DSCを用いた、ガラス化するハイドロゲルの熱分析・工業用リグニンヒドロゲルに由来する多元素ドーパ多孔性炭素材料開発」「持続可能な養殖と魚類保全のための応用保全内分分泌学の推進・サケ科魚類の下垂体ホルモン分泌に対する光の直接作用：養殖魚と天然魚のストレス及び成長マーカーの有効性」「海洋生物多様性の保全と沿岸生態系の持続可能な利用の両立」UMAが



総合博物館 小林教授

スケッチのポイントを教える
小林教授(左端)

講義は、札幌テレビ放送株式会社（STV）アナウンサーの急務裕美さんが司会を務め、小林教授との軽妙な掛け合いで進行しました。前半では、ウズベキスタンやモンゴルで恐竜の化石の発掘調査をした際の街の様子や、発掘現場

となった砂漠の写真が紹介されました。また、1934年に日本人が初めて研究した恐竜「ニッポノサウルス」の化石について再研究した結果、スペインにいた恐竜に近い種だったことが分かってきたことから、小林教授は、恐竜の時代にも「シルクロード」のようなものがあり、恐竜が東アジアとヨーロッパを行き来していたのではないかと考えていると解説しました。

講義の後半では、最新の研究成果が紹介されました。映画「ジュラシック・ワールド」のように、化石のDNAから恐竜を復元できるのかという話題では、小林教授は、DNAは非常に壊れやすく、化石から取り出すのは難しいが、DNAより化石に残りやすい「コラーゲン」に注目して研究していること、コラーゲンは皮膚などを作るたんぱく質の一種で、もしも恐竜の皮膚が現代に再現でき



参加者と小林研究室の学生たち

難しいが、DNAより化石に残りやすい「コラーゲン」に注目して研究していること、コラーゲンは皮膚などを作るたんぱく質の一種で、もしも恐竜の皮膚が現代に再現でき

バ、恐竜の皮のハンドバックや、恐竜のだしで作ったラーメンもできるかもしれないと話し、会場を沸かせました。実習では、受講生が3グループに分かれ、普段は公開していない収蔵庫で化石を見学したり、化石の周りについている岩を取り除くクリーニング作業を体験したりしました。本物のニッポノサウルスの骨を触りながら形をスケッチする場面では、小林教授が化石の扱い方や、観察する時のポイントなどを解説し、受講生は緊張した面持ちで慎重に化石を手に取り、真剣な表情でスケッチしていました。

最後に、小林教授は受講生に向けて、「いろいろなことを三日坊主でもいいのでやってみてください。合わないければやめればいいし、また始めることもできます。なぜか分からないけれど、続けられたことがやがて力になっていきます」と話し、挑戦することの大切さを伝えました。

サイエンスレクチャー2025「ダイナソー小林の恐竜研究最前線」

日時: 2025年5月24日(土) 14時00分～16時30分

会場: 北海道大学総合博物館

対象: 中学生、高校生

主催: 北海道大学、読売新聞北海道支社

後援: 札幌市教育委員会

協力: 札幌テレビ放送株式会社(STV)

※サイエンスレクチャーは、北海道大学と読売新聞社との包括連携協定のもとに開催しています。

サイエンスレクチャー2025 「ダイナソー小林の恐竜研究最前線」を開催

5月24日(土)、総合博物館にて、サイエンスレクチャー2025「ダイナソー小林の恐竜研究最前線」が開催され、中高生30名が参加しました。講義では、日本を代表する恐竜学者で、「ダイナソー小林」の愛称でも親しまれている総合博物館の小林快次教授が、最新の恐竜研究について紹介し、参加者は実際の恐竜の骨に触れながらスケッチをする体験や、普段は非公開の収蔵庫の見学、化石のクリーニング作業を体験しました。



資金総長による説明

「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」を提案し、採択されています。今回のサイトビジットは、JPEAKSの中核となる研究拠点等の視察と、本学執行部との意見交換を通じ、事業の進捗状況の確認や課題を把握すること、

本学の歴史や強み、特色が分かる施設等を視察し、実態を把握することを目的としました。当日は、本学の担当サポーターである長我部信行氏(株式会社日立ハイテク コアテクノロジー&ソリューション

「地域中核:特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」伴走チームによるサイトビジットの実施

2月6日(木)「地域中核:特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」伴走チームによるサイトビジットが実施されました。JPEAKSは、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。本学は、令和5年度に

採択しました。選出された申請からは、両校の強みである研究室ベースの高分子工学、フィールドを使った農学、環境科学から現代日本学、境界研究まで、若手研究者が研究代表者となっているものも含め、二大学間で幅広い分野の潜在的な連携可能性があることが示されました。両校の研究連携加速が期待されます。(国際連携推進本部、研究推進部 研究振興企画課)

野口農学研究院長によるトラクター
の遠隔操作デモの様子西邑副学長による
リジェネ農業の説明

引き続き、本学の総合博物館及びスマート農業教育研究センターの視察が行われました。総合博物館では、坪田敏男館長、江田真毅研究部長とともに館内の見学を行い、本学の歴史や展示物に触れていただきました。その後、スマート農業教育研究センターに場所を移し、西邑隆徳副学長からリジェネラティブな持続的食料生産システムに関する研究についての説明を、後藤貴文北方生物圏フィールド科学センター教授から次世代和

牛生産システム構築拠点についての説明を、野口伸農学研究院長からトラクターの遠隔操作を交えて、スマート農業教育研究センターにおける革新的スマート農業研究についての説明を行いました。これらの取り組みについて、伴走チームから、大学の哲学から始める骨太の話に加え、研究者の熱のこもったプレゼンと実演で北大の目指す姿を効率よく体験

2025年(令和7年)
残暑お見舞い申し上げます。

北大東京同窓会
役員一同・事務局

会長 横田 浩 (経・60)
事務局 松浦 優美子 (文・H7)

北海道大学東京同窓会

会長
横田 浩

(経・60)

JFEホールディングス株式会社

名誉顧問
数土 文夫

(工・39・冶金)

(公財)産業教育振興中央会

理事長
杉江 和男

(工・45・応化・修)

北海道大学工学部同窓会
東京支部

支部長
井上 修平

(工・50・資源開発)

北海道大学東京同窓会 理事
北海道大学東京同窓会 情報処理委員長
北海道大学北楡会 顧問

松谷 寛

(工・52・電子)

北海道大学校友会エルム

会長
真弓 明彦

(工・54・電気)

有限会社ケースオフィス

代表取締役
川添 公貴

(工・56・応化)

北海道大学工学部
化学系東京同窓会(北鐘)

会長
近藤 伸一

(工・58・応化・修)

株式会社IHI
資源エネルギー・環境事業領域

技監
岩崎 哲也

(工・59・機)

ワイ・エム・エス株式会社

代表取締役
島田 久

(工・61・金属)

尾瀬沼畔長蔵小屋
尾瀬ヶ原第二長蔵小屋

平野 太郎

(工・H3・衛生)

十条ケミカル株式会社

代表取締役
小山 裕

(工・H4・金属)

北海道大学歯学部同窓会
関東支部

支部長
大倉 一徳

(歯・62)

森 和弘

(歯・H1)

イーザイ豊友会

理事長
土屋 裕

(薬・50)

一般財団法人EJABS 代表理事
ダクトリ動物病院 総合院長
コロド州立医科大学客員教授・日本獣害大使(JVBS)
千葉科学大学客員教授
ダクトリ動物病院 東京医療センター
東京都港区白金5-1-1 TEL:03-5460-0002
ダクトリ動物病院 代々木
東京都渋谷区南横町-2 TEL:03-5426-6000
ダクトリ動物病院 大井町
東京都大田区大井町1-1 TEL:03-6767-6000



加藤 元

(獣・31)

北海道大学獣医学部同窓会

副会長・関東支部長
境 政人

(獣・53)

Earthrise Nutritionals LLC
(a Member of the DIC Group)
President and CEO

大野 隆明

(水・H6・食・修)

公益社団法人北海道倶楽部

副理事長
DG株式会社
代表取締役
本間 修

(法・45)

日本原子力研究開発機構

理事長
小口 正範

(法・53)

株式会社ジョンソンコントロールズ

取締役
石川 裕一

(法・54)

北海道大学東京オフィス

副所長
廣重 勝彦

(法・57)

東京フラテ会

会長 畠山 昌則 (医・50)

北水同窓会
東京支部一同

支部長 樋口 達夫 (水・50・食品・修)
副支部長 舟木 謙二 (水・59・食品)
副支部長 松本 偉 (水・H5・漁業)
幹事長 釜谷 明 (水・H3・食品)

東日本恵迪寮同窓会

役員一同

会長 坂倉 雅夫 (S44入寮、農・48・農工)

【寮歌祭のご案内】

「2025年(一社)恵迪寮同窓会 東日本大会in池袋」

【日時】2025年10月13日(月・祝)

1.開識社(講演会・無料) 12:00~13:00

講師:石田 陽子 氏(1999年・北大医学部卒)

演題:「眠るほど、ぐんぐん仕事がうまくいく」

2.総会及び大寮歌祭(会費:5,000円) 13:20~16:00

【会場】「緑丘会館(小樽商科大学同窓会館)」

東京都豊島区東池袋3-1-1 池袋サンシャインビル57F

一般社団法人 札幌農学同窓会

東京支部 役員一同

理事長 別所 智博 (農・56・農化)

副理事長 石崎 英治 (農・H12・森林科学)

北大経済学部

東京同窓会 役員一同

会長 永松 昌一 (経・57)

事務局長 菅埜 誠 (経・52)

北大法学部

東京同窓会 役員一同

会長 小口 正範 (法・53)

株式会社町村農場

代表取締役

町村

均

(法・60)

JFEフარიソース株式会社

代表取締役社長

堀江 亮介

(法・61)

株式会社サクセスボード

代表取締役社長

菅野 聡



(法・62)

三井化学株式会社

代表取締役社長

橋本

修

(法・62)

北海道大学大学院法学研究科

研究科長・法学部長

佐々木

雅寿

(法・61)

北海道大学法学部同窓会

会長

藤田 美津夫

(法・51)

北海道大学法学部同窓会

常任幹事・兼事務局長

猪飼 秀一

(法・52)

弁護士法人沖崎総合法律事務所

代表社員・弁護士

沖崎

遼

(法・H21)

株式会社トクヤマ

代表取締役社長・執行役員

横田

浩

(経・60)

株式会社テイリーテクノ

代表取締役社長・農学博士

富田

守

(農・36畜産)

(一社)札幌農学同窓会

名誉会員

松沢 幸一

(農・46農化／48修)

技術士(建設部門)

坂倉 雅夫

(農・48農工)

一般社団法人緑の循環認証会議

専務理事

梶谷 辰哉

(農・50林学)

中外製薬株式会社 特別顧問

(一社)日本経済団体連合会 審議員会副議長

三菱電機株式会社 社外取締役

株式会社小松製作所 社外監査役

小坂 達朗

(農・51農化)

(一社)札幌農学同窓会 代議員

ITアドバイザー

櫻田

巧

(農・58農経)

三晃堂三井印店

代表

三井

晃一

(農・H1農学)

Crowe GTA Myanmar Co., Ltd.

Managing Partner

瀬戸山 洋介

(農・H12農工)

新入会員

(令和7年2月〜6月、敬称略)

松本英之(農・生物資源H8)、

松浦優美子(文・哲H7)、サイ

ボウン明里(文・人文科学R2)、

池田壮雄(医R6)、岩崎信治(工・

合成化学S39)、井上暁彦(法・

法律H16)、佐藤文昭(文・人文

科学H18)、吉岡孝正(水産・水

産食品S56)、林原花梨(工・情

報エレクトロニクスR7)、千葉

優作(工・機械知能IR3)、山

崎理沙(理・地球惑星科学R7)、

川崎ナナ(薬S59)、趙文燦(経

院・現代経済経営R7)、重元貴

将(環境科学院・環境物質科学

H20)、丸藤剛大(工・情報エ

レクトロニクスH26)、馮馳(総合

化学院博士R5)、荒井一帆(経・

経済H28)、林崎弥生(獣医H8)、

西山佑典(経・経済R4)、廣瀬

智矩(経・経営H19)

訃報

(令和7年2月〜6月、敬称略)

小林泰(農・経S32)、丹保睦敬

(工・建築S32)、渡部耕司(工・

合化修S41)、三原晃一(工・建

築S35)、栃木捷一郎(医S44)、

池田元彦(法S33)、高山元(農・

農工S39)、梅原誠一郎(工・治

金修S44)

名刺広告は1コマ、7千円で、
皆様にご協力をいただいています。
掲載をご希望の方はお気軽に
東京同窓会事務局までご連絡ください。



東京同窓会お問い合わせメール▶



病気だけでなく、
創業の常識にも立ち向かう。
未知のイノベーションで、
病気より先に未来へ行く。
できそうもない薬でなければ
私たちが生み出す意味はない。

創造で、想像を超える。



第44回 北楡会総会・

懇親会開催のご案内

日時：令和7年11月7日(金)

18時受付

18時半：総会・講演会

19時半：懇親会

会場：ホテルリステル新宿

会費：6,000円(予定)

総会・講演会のみ出席者無料、70歳以上

学部卒業後10年以内の方

女性は4,000円

北楡会Webページはこちらから▶



お問い合わせメール

hokudai-hokuyukai@googlegroups.com

事務局からのお知らせ

◆新年交礼会

日時：令和8年1月16日(金) 18時受付予定

多磨霊園墓参の誘い

- 主催／クラーク遺徳顕彰・墓参委員会
- 期日／10月12日(日)、10:30集合
- 集合場所／多磨霊園正門 松乃家石材店
- 費用／なし(お花は事務局で用意)
- 持ち物／軍手、出来たら園芸用根切り、シャベル
(移植ゴテ・墓地の草取り用)、ダスター



2024年10月

【連絡先】浅田清(H1歯)

TEL 080-8452-7451 メール asadashika@yahoo.co.jp

※参加希望の方は、準備の都合上9月30日(火)までにご一報下さい。



イラスト©高野葵(H25環境科学院)

歳 亜久人の北大あるある



北海道の花

絵と文 鮫島 惇一郎

あたふたと駆け去ってゆく雪解けの季節。道南からの便りでは、フクジュソウが日当たりのよい土手に満開だという。

桜前線はどこまで北上してきたかと新聞紙上を賑わせ、テレビでも小煩い。しかし、北国の花の季節の訪れは直情的で解り易く、活力がある。

雪解け水の溜りには、ミズ



ミヤマエンレイソウ

バショウやエゾノリュウキンカ。日溜まりにはエゾエンゴサクの青紫色の花房や淡紅色のカタクリ。追い掛けるように見事なオオバナノエンレイソウの群生地が明るい広葉樹林の林床に出現する。ミヤマエンレイソウの控えめな白い花はその後を追いつ、花の宴の締め括りともなう。

ミヤマエンレイソウは別名をシロバナエンレイソウといい学名は *Trillium tschonoskii* Maximowicz と記される。

「チョウノスキー」

とはマキシモヴィッチ氏がシロバナエンレイソウに新しく学名を命名するにあたり、彼の片腕となって植物の採集に力を尽くした須川長之助氏の功に因って贈った「献名」である。

二〇一〇年、北海道大学総合博物館でこの二人と宮部金吾先生を

加えた三名にまつわる壮大な物語が披露された。「花の日露交流史―幕末の箱館山を見た男」図録、マキシモヴィッチ・長之助・宮部展といった。

江戸末期、マキシモヴィッチ氏が箱館（函館）に初上陸されて以来の物語が展開される。

これを企画されたのは当館の高橋英樹教授を中心とした方々で、図録に収められている記事「マキシモヴィッチと長之助、宮部の出会いと別れ」をはじめ、いづれも感慨深く読ませて戴いた。また岩手大学の須田裕名誉教授の「稀代のプラントハンター須川長之助翁」では須川氏の全体像が述べられて興味深い。

写真とはいえ、コマロフ植物学研究所蔵のシロバナエンレイソウ（ミヤマエンレイソウ）のタイプ標本が示され、遠い時代の姿を今日に伝えている事実にいよいよ感動を覚える。

ミヤマエンレイソウを目の前にして、激動の時代、島国と大陸の間に繰り広げられた素晴らしい物語に酔った。

（昭25理・植）

編集後記

■加藤先生の寄稿にある、札幌農学校の前身―開拓使仮学校の創設期に、アメリカから招かれた人々がフィールド重視だったことは興味深い。新渡戸が遠友夜学校に残した「学問より実行」の教えや、絶滅危惧種のパナマのランを支援する先輩、そしてサーモンの養殖やイチゴ栽培に挑戦する後輩たち。どれも創成期のスピリットだ。開拓当時わずか2千人だった札幌が200万都市に成長する年月が流れても、今も母校にフロンティア精神が息づいているのだと思うと誇らしい。

（島田久）

FRONTIER 北海道大学 東京同窓会会報

第67号 2025年（令和7年）8月20日発行

発行所：北海道大学東京同窓会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー10階

☎03-3211-9211 ☎03-3211-9288

Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp

H P http://www.hokudai-tokyo.org/

発行人 横田 浩

編集人 高橋 寛

島田 久 高野 葵 浦崎 稔史
山本 淳博 八谷 俊雄 青山 千穂 谷畑 敦史
陣谷 義直

